

(4) 人文学類

学類共通(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB50A11	哲学・宗教学入門	1	1.0	1	秋AB	月2		津崎 良典, 板東 洋介, 小野 基, 保呂 篤彦, 志田 泰盛, 土井 裕人	哲学と宗教学の基本的な概念や方法について学ぶ。	専門導入科目(事前登録対象)。その他の実施形態
AB50B11	史学入門	1	1.0	1	春BC	月2		岩田 啓介, 上田 裕之, 柴田 大輔, 田中 友香理, 中西 僚太郎, 中野目 徹, 三谷 芳幸, 村上 宏昭, 山田 重郎	歴史学研究の基礎について講義する。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AB50C11	考古学・民俗学入門	1	1.0	1	春BC	月1		三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠, 中野 泰, 武井 基晃, 中村 友香	先史学・考古学・民俗学・文化人類学の基本的な考え方や基礎的な知識、研究の方法論を学ぶ。フィールドワークに基づいて生活文化の総体的理解を深め、物質文化資料や、人々の生活の観察・対話を通じて、過去と現在の人間社会の営みや多様性を考察する方法を身に付ける。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AB50E11	言語分析入門	1	1.0	1	秋AB	月1		加賀 信広, 黄 賢暉, 金谷 優	言語学の基本的な考え方と分析法を学ぶことにより、言語学に関する基礎的な知識を身に付けるとともに、文の構造や意味および音声について言語学的に考察するとはどういうことかを知り、実際に言語分析を行うための素地を養成する。日本語と英語を主な題材として取りあげ、統語論、(認知)意味論、音声学・音韻論などの観点から考察を進める。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)
AB50F11	個別言語学入門	1	1.0	1	春BC	火2		橋本 修, 臼山 利信, 佐々木 勲人	日本語、中国語、ロシア語などを例にして、個別言語分析の事例を紹介し、言語研究がどのようなものであるかを考える。	専門導入科目(事前登録対象)。オンライン(オンデマンド型)。オンライン(同時双方向型)

哲学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB60A11	哲学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	火1		檜垣 良成	哲学するとはどういうことかを徹底的に体得してもらおう(他専攻・他学類歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)オンライン(同時双方向型)
AB60A21	哲学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火1		檜垣 良成	引き続き哲学するとはどういうことかを徹底的に体得してもらおう(他専攻・他学類歓迎。ただし、電子シラバス熟読のこと)。	オンライン(同時双方向型)
AB60B11	倫理学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	木4		千葉 建	倫理学の基本的な概念と方法について考察する。	オンライン(オンデマンド型)
AB60B21	倫理学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	木4		千葉 建	引き続き倫理学の基本的な概念と方法について考察する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)オンライン(オンデマンド型)
AB60C11	宗教学通論-a	1	1.0	1・2	春AB	金3		保呂 篤彦	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題に関する基本的な情報を提供するとともに、宗教研究(広義の宗教学)の諸相を概説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない)オンライン(オンデマンド型)
AB60C21	宗教学通論-b	1	1.0	1・2	秋AB	金3		保呂 篤彦	世界の諸宗教伝統や現代世界における宗教をめぐる諸問題に関する基本的な情報を提供するとともに、宗教研究(広義の宗教学)の諸相を概説する。	オンライン(オンデマンド型)
AB60G11	東洋思想-a	1	1.0	1・2	春AB	木3		小野 基	インドの古代の思想史を概観し、日本やアジア文化圏全般に深い影響を与えたインド思想、インド仏教思想に関する基礎知識を習得する。	オンライン(同時双方向型)
AB60G21	東洋思想-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3		小野 基	春学期に続いて、インドの古代の思想史を概観し、日本やアジア文化圏全般に深い影響を与えたインド思想、インド仏教思想に関する基礎知識を習得する。	オンライン(同時双方向型)

哲学(哲学・倫理学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB61A11	哲学特講I-a	1	1.0	2-4					デカルト哲学について講ずる。	西暦奇数年度開講。オンライン(同時双方向型)
AB61A21	哲学特講I-b	1	1.0	2-4					デカルト哲学について講ずる(承前)。	西暦奇数年度開講。オンライン(同時双方向型)
AB61A31	哲学特講II-a	1	1.0	2-4	春AB	火4		津崎 良典	デカルト哲学について講ずる。	西暦偶数年度開講。オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB61A41	哲学特講II-b	1	1.0	2-4	秋AB	火4		津崎 良典	デカルト哲学について講ずる。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61A51	哲学特講III-a	1	1.0	2-4					現代日本社会における哲学の危機について、徹底的に哲学(対話)する(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと。履修制限あり)。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61A61	哲学特講III-b	1	1.0	2-4					現代日本社会における哲学の危機について、引き続き徹底的に哲学(対話)する(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと。履修制限あり)。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61A71	哲学特講IV-a	1	1.0	2-4	春C	火1,2		檜垣 良成	現代日本社会における哲学の危機について、(哲学対話)を深める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと。受講条件あり)。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61A81	哲学特講IV-b	1	1.0	2-4	秋C	火1,2		檜垣 良成	現代日本社会における哲学の危機について、引き続き(対話)を深める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと。受講条件あり)。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61C11	哲学史I-a	1	1.0	2-4					西洋近世哲学史を概観する(ヘレニズム哲学復興を中心に)。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61C21	哲学史I-b	1	1.0	2-4					西洋近世哲学史を概観する(デカルトからライブニッツまで)。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61C31	哲学史II-a	1	1.0	2-4	春AB	水3		津崎 良典	西洋近代哲学史を概観する(18世紀のフランス哲学に傾注する)。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61C41	哲学史II-b	1	1.0	2-4	秋AB	水3		津崎 良典	西洋近代哲学史を概観する(19世紀から20世紀初頭までのフランス哲学に傾注する)。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61C51	哲学史III-a	1	1.0	2-4					西洋哲学史上の諸問題にテキストに即して迫る(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61C61	哲学史III-b	1	1.0	2-4					西洋哲学史上の諸問題に引き続きテキストに即して迫る(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61C71	哲学史IV-a	1	1.0	2-4	春AB	火3		檜垣 良成	西洋哲学史上の諸問題をテキストに即して極める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61C81	哲学史IV-b	1	1.0	2-4	秋AB	火3		檜垣 良成	西洋哲学史上の諸問題を引き続きテキストに即して極める(他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61G12	哲学演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	火6		津崎 良典	近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(フランス語既習者対象)。	2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61G22	哲学演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	火6		津崎 良典	近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(承前:フランス語既習者対象)。	2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61G32	哲学演習II-a	2	1.0	2-4					近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(フランス語既習者対象)。	2020年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61G42	哲学演習II-b	2	1.0	2-4					近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(承前:フランス語既習者対象)。	2020年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61G52	哲学演習III-a	2	1.0	2-4					近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(フランス語既習者対象)。	2021年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61G62	哲学演習III-b	2	1.0	2-4					近世ヨーロッパの哲学的著作をフランス語による原文で講読する(フランス語既習者対象)。	2021年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61G72	哲学演習IV-a	2	1.0	2-4	春AB	火2		檜垣 良成	カントのテキストを丁寧に読んで現代の哲学的諸問題と対決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61G82	哲学演習IV-b	2	1.0	2-4	秋AB	火2		檜垣 良成	カントのテキストを引き続き丁寧に読んで現代の哲学的諸問題と対決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61H12	哲学演習V-a	2	1.0	2-4					カントのテキストを丁寧に読んで現代の哲学的諸問題を考える(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2020年度より2年おき開講。
AB61H22	哲学演習V-b	2	1.0	2-4					カントのテキストを引き続き丁寧に読んで現代の哲学的諸問題を考える(初学者から。他専攻・他学類歓迎)。	2020年度より2年おき開講。 2020年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61H32	哲学演習VI-a	2	1.0	2-4					カントのテキストを丁寧に読んで現代の哲学的諸問題を解決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	2021年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB61H42	哲学演習VI-b	2	1.0	2-4					カントのテキストを引き続き丁寧に読んで現代の哲学的諸問題を解決する(初学者から。他専攻・他学類歓迎。ただし電子シラバス熟読のこと)。	2021年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB61J12	哲学史演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	金2		菅崎 香乃	ウィトゲンシュタインのテキストを原典で精読し、そこで提示された問題について議論する。	オンライン(同時双方向型)
AB61J22	哲学史演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	木6		清水 洋貴	哲学研究の基礎となる原典、資料を読む力を養う。	オンライン(同時双方向型)
AB61J32	哲学史演習II-a	2	1.0	2-4	春C	月4,5		小石川 和永, 石田 隆太	本授業はハイデガーの『時間概念の歴史への序説』を以下の二点を念頭に精読する。1) フッサール現象学の特質を理解する。2) ハイデガーが如何に自身の基礎存在論の契機をフッサール現象学の内に見出したのかを確認する。	オンライン(同時双方向型)
AB61J42	哲学史演習II-b	2	1.0	2-4	秋C	月4,5		小石川 和永, 菅崎 香乃	本授業は、引き続きハイデガーの『時間概念の歴史への序説』を以下の二点を念頭に精読する。1) フッサール現象学の特質を理解する。2) ハイデガーが如何に自身の基礎存在論の契機をフッサール現象学の内に見出したのかを確認する。	オンライン(同時双方向型)
AB62A11	倫理学特講I-a	1	1.0	2-4					倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題を考える。	西暦奇数年度開講。対面
AB62A21	倫理学特講I-b	1	1.0	2-4					倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題を考える。	西暦奇数年度開講。対面
AB62A31	倫理学特講II-a	1	1.0	2-4	春AB	金5		千葉 建	倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題を考える。	西暦偶数年度開講。対面
AB62A41	倫理学特講II-b	1	1.0	2-4	秋AB	金5		千葉 建	倫理学の重要文献を取り上げ、学生のレジュメを基に、ディスカッションを通じて、倫理学の根本問題をさらに考える。	西暦偶数年度開講。対面
AB62A61	倫理学特講III-b	1	1.0	2-4					日本倫理思想史上の重要な課題を取り上げ、考察を行う。仏教・儒教を中心とする前近代日本思想の根本的な特徴は、自己を取り巻く世界のありようやあるべき生き方を考えるに際して、自らの生得的な理性から出発するのではなく、神・仏・聖人といった超越的な他者への信から出発する点にある。前近代の日本・東洋思想を「哲学」とよぶことに多くの人が躊躇を覚えるのはこのためである。では、なぜ昔の日本人は「知」よりも「信」を重んじたのだろうか。本講義では、とくに仏教・儒教における信と知の問題圏を通観し、その思想的な内実と意義とを明らかにする。	西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB62A71	倫理学特講IV-a	1	1.0	2-4	春AB	木2		板東 洋介	日本倫理思想史上の根本的な問題を取り上げ、通史的にその帰趨を概観する。	西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB62A81	倫理学特講IV-b	1	1.0	2-4	秋AB	木2		板東 洋介	日本倫理思想史上の根本的な問題を取り上げ、通史的にその帰趨を概観する。	西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB62C11	倫理思想史I-a	1	1.0	2-4					西洋倫理思想史をテキストの読解を通じて理解する。	西暦奇数年度開講。オンライン(同時双方向型)
AB62C21	倫理思想史I-b	1	1.0	2-4					引き続き西洋倫理思想史をテキストの読解を通じて理解する。	西暦奇数年度開講。オンライン(同時双方向型)
AB62C31	倫理思想史II-a	1	1.0	2-4	春AB	金3		千葉 建	西洋倫理思想史をテキストに即して考察する。	西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB62C41	倫理思想史II-b	1	1.0	2-4	秋AB	金3	共同利用棟 A101	千葉 建	引き続き西洋倫理思想史をテキストに即して考察する。	西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB62C51	倫理思想史III-a	1	1.0	2-4					日本古代～中世の倫理思想史を通観する。	西暦奇数年度開講。2022年度開講せず。対面
AB62C61	倫理思想史III-b	1	1.0	2-4					日本古代～中世の倫理思想史を通観する。	西暦奇数年度開講。2022年度開講せず。対面
AB62C71	倫理思想史IV-a	1	1.0	2-4	春AB	木4		板東 洋介	倫理思想史について考察する。	西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB62C81	倫理思想史IV-b	1	1.0	2-4	秋AB	木4		板東 洋介	日本近世～近代の倫理思想史を通観する。	西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB62E11	倫理思想史V-a	1	1.0	2-4	春AB	月3		蓮沼 直應	本講義では日本近代の哲学者の倫理思想について考察する。特に西田幾多郎、田辺元といった京都学派の哲学者や、禅学者・鈴木大拙に焦点を当て、彼らの宗教哲学における倫理の意味を探る。	対面
AB62E21	倫理思想史V-b	1	1.0	2-4	秋AB	月3		蓮沼 直應	引き続き本講義では日本近代の哲学者の倫理思想について考察する。特に西田幾多郎、田辺元といった京都学派の哲学者や、禅学者・鈴木大拙に焦点を当て、彼らの宗教哲学における倫理の意味を探る。	対面
AB62G12	倫理学演習I-a	2	1.0	2-4					西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典精読する。	2021年度より2年おき開講。対面
AB62G22	倫理学演習I-b	2	1.0	2-4					引き続き西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典精読する。	2021年度より2年おき開講。対面
AB62G32	倫理学演習II-a	2	1.0	2-4	春AB	木3		千葉 建	西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典精読する。	2022年度より2年おき開講。オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB62G42	倫理学演習I1-b	2	1.0	2-4	春AB	木3		千葉 建	引き続き西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB62G52	倫理学演習III-a	2	1.0	2-4					西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2023年度より2年おき開講。 2022年度開講せず。 対面
AB62G62	倫理学演習III-b	2	1.0	2-4					引き続き西洋近現代倫理学の代表的な文献を原典講読する。	2023年度より2年おき開講。 2022年度開講せず。 対面
AB62G72	倫理学演習IV-a	2	1.0	2-4	春AB	火5		板東 洋介	日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB62G82	倫理学演習IV-b	2	1.0	2-4	秋AB	火5		板東 洋介	日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB62H12	倫理学演習V-a	2	1.0	2-4					日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2023年度より2年おき開講。 2022年度開講せず。 対面
AB62H22	倫理学演習V-b	2	1.0	2-4					日本倫理思想史上で重要な古典文献を原典で講読する。	2023年度より2年おき開講。 2022年度開講せず。 対面
AB62J12	倫理思想史演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	金4		牧野 静	本演習では、日本の近代の思想を扱う主要な論文集を扱う。あらかじめ担当箇所を定め、各回の担当者が作成した資料をもとに、全員で議論する。学術的な文章を読む訓練をし、論文を読む力をつけることを目標とする。	対面
AB62J22	倫理思想史演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	金4		牧野 静	引き続き本演習では、日本の近代の思想を扱う主要な論文集を扱う。あらかじめ担当箇所を定め、各回の担当者が作成した資料をもとに、全員で議論する。学術的な文章を読む訓練をし、論文を読む力をつけることを目標とする。	対面
AB62K12	哲学・倫理学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		檜垣 良成, 津崎良典, 千葉 建, 板東 洋介	哲学・倫理学に関する卒業論文の指導を行う。	
AB62K22	哲学・倫理学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		檜垣 良成, 津崎良典, 千葉 建, 板東 洋介	哲学・倫理学に関する卒業論文の指導を行う。	
AB62K38	卒業論文(哲学・倫理学)	8	6.0	4	通年	随時		檜垣 良成, 津崎良典, 千葉 建, 板東 洋介	哲学・倫理学に関する卒業論文。	

哲学(宗教学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB63A11	宗教学-a	1	1.0	2-3	春AB	金5		宮澤 安紀	宗教学・宗教社会学の代表的な議論を学んだうえで、宗教に関わる特定のトピック、特に日本の宗教についての話題を中心的事例としながら、私たちの生活と宗教との関わりを多様な側面から学ぶとともに、現代社における宗教をめぐる問題について理解を深める。	オンライン(オンデマンド型)
AB63A21	宗教学-b	1	1.0	2-3	秋AB	金5		土井 裕人	宗教をはじめとする基本概念の成立を検討したうえで、代表的な学説をたどることによって宗教学の方法論への理解を深める。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	オンライン(同時双方向型)。対面 授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63A31	宗教哲学-a	1	1.0	2-4	春AB	月3		保呂 篤彦	主に講義形式で、多様な宗教哲学のあり方と可能性、宗教研究における宗教哲学の位置等について考察するとともに、いくつかのタイプの古典的な宗教哲学(狭義の)を紹介する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB63A41	宗教哲学-b	1	1.0	2-4	秋AB	月3		保呂 篤彦	主に講義形式で、科学的宗教理解(研究)、形而上学、キリスト教神学などと宗教哲学との関わり、現代における宗教哲学の主要なテーマと諸潮流のいくつかについて概説する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB63A71	比較思想論-a	1	1.0	2-4	春AB	火3		小野 基	インドの哲学・宗教思想を、西洋・中国・日本等、他の文化圏の哲学・宗教思想とテーマ別に比較しながら論じる。春学期は、比較思想の方法論、および仏教とキリスト教の宗教思想の比較を中心に論じる。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)。対面 授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63A81	比較思想論-b	1	1.0	2-4	秋AB	火3		小野 基	インドの哲学・宗教思想を、西洋・中国・日本等、他の文化圏の哲学・宗教思想とテーマ別に比較しながら論じる。秋学期は、インドと西洋の哲学思想から共通するトピックを幾つか取り上げて論じる。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)。対面 授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63B11	東洋宗教思想史-a	1	1.0	2-4	春AB	木4		志田 泰盛	東洋の宗教思想について、インドの古典を中心に概観する。	オンライン(同時双方向型)。対面 授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63B21	東洋宗教思想史-b	1	1.0	2-4	秋AB	木4		志田 泰盛	引き続き、東洋の宗教思想について、インドの古典を中心に概観する。	オンライン(同時双方向型)。対面 授業を対面で実施するかは後日周知。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB63B31	西洋宗教思想史-a	1	1.0	2-4					明治期以降の日本の学者が西洋の宗教思想(特に神秘主義)をどのように解釈したかを通じて、宗教の「本質」がいかに捉えられうるか検討する。詳細はシラバスを必ず参照すること。	西暦奇数年度開講。オンライン(同時双方向型)授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63B41	西洋宗教思想史-b	1	1.0	2-4					明治期以降の日本の学者が西洋の宗教思想(特に神秘主義)をどのように解釈したかを通じて、宗教の「本質」がいかに捉えられうるか検討する。詳細はシラバスを必ず参照すること。	西暦奇数年度開講。オンライン(同時双方向型)授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63C11	宗教学特講-I	1	1.0	2-4	春C夏季休業中	集中		宮澤 安紀	宗教学における重要なトピックを特に取り上げて考察する。	オンライン(オンデマンド型)
AB63C31	宗教学特講-II	1	1.0	2-4					宗教学における重要なトピックを特に取り上げて考察する。	2022年度開講せず。
AB63C51	宗教学特講-III	1	1.0	2-4	秋C	集中		一色 大悟, 土井裕人	宗教学における重要なトピックを特に取り上げて考察する。	オンライン(オンデマンド型)。その他の実施形態授業形態は後日周知。
AB63C71	宗教学特講-IV	1	1.0	2-4	秋C	集中		武藤 亮飛, 土井裕人	宗教学における重要なトピックを特に取り上げて考察する。	オンライン(オンデマンド型)。その他の実施形態授業形態は後日周知。
AB63E12	宗教学演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	月4		保呂 篤彦	一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教哲学に関するテキストを講読し、その内容について議論を行う。	オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63E22	宗教学演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	月4		保呂 篤彦	一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教哲学に関するテキストを講読し、その内容について議論を行う。	オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63E32	宗教学演習I-c	2	1.0	2-4	春C	月4,5		保呂 篤彦	一つないしいくつかのトピックについて、近代ないし現代の宗教学・宗教哲学に関するテキストを講読し、その内容について議論を行う。	「宗教学演習Ia(または-a)」および「宗教学演習Ib(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63E52	宗教学演習II-a	2	1.0	2-4	春AB	木5		小野 基	宗教学コースにおける、主として東洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	オンライン(同時双方向型)
AB63E62	宗教学演習II-b	2	1.0	2-4	秋AB	木5		小野 基	宗教学コースにおける、主として東洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	オンライン(同時双方向型)
AB63E72	宗教学演習II-c	2	1.0	2-4	秋C春季休業中	木5集中		小野 基	宗教学コースにおける、主として東洋宗教を扱う学生の卒業論文執筆に向けたプレゼンテーション演習。	オンライン(同時双方向型)
AB63F12	宗教学演習III-a	2	1.0	2-4	春AB	金4		志田 泰盛	サンスクリットの原典講読。初等文法の修了者を対象とする。講読するテキストについては出席者の希望を勘案して決める。シラバスを参照のこと。	オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63F22	宗教学演習III-b	2	1.0	2-4	秋AB	金4		志田 泰盛	サンスクリットの原典講読。初等文法の修了者を対象とする。講読するテキストについては出席者の希望を勘案して決める。シラバスを参照のこと。	オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63F32	宗教学演習III-c	2	1.0	2-4	春C秋C	金4		志田 泰盛	サンスクリットの原典講読。初等文法の修了者を対象とする。講読するテキストについては出席者の希望を勘案して決める。シラバスを参照のこと。	「宗教学演習IIIa(または-a)」および「宗教学演習IIIb(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63F52	宗教学演習IV-a	2	1.0	2-4	春AB	金6		土井 裕人	海外の研究者による宗教学の文献を精読する。	(担当教員は変更予定) オンライン(同時双方向型)
AB63F62	宗教学演習IV-b	2	1.0	2-4	秋AB	金6		土井 裕人	宇宙・世界の構造と宗教思想というテーマを中心に、創造や制作といった観点から文献を精読する。演習で扱った内容は、各自の問題意識に応じているいるな場でアウトプットされることが望ましい。電子シラバスを一読のこと。(他専攻・他学類歓迎)	オンライン(同時双方向型)。対面授業を実施するかは後日周知。
AB63F72	宗教学演習IV-c	2	1.0	2-4	春C夏季休業中	集中		土井 裕人	海外の研究者による宗教学の文献を精読する。	「宗教学演習IVa(または-a)」および「宗教学演習IVb(または-b)」を履修済あるいは履修予定の者に限る。(担当教員は変更予定) オンライン(同時双方向型)
AB63G12	東洋宗教思想史演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	火4		小野 基	漢文またはサンスクリットで文献を講読し、アジアの諸文化の源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかオンラインで実施するかは後日周知。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB63G22	東洋宗教思想史演習I-b	2	1.0	2-4	春C夏季休業中	集中		小野 基	漢文またはサンスクリットで文献を講読し、アジアの諸文化の源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかオンラインで実施するかは後日周知。
AB63G32	東洋宗教思想史演習I-c	2	1.0	2-4	秋AB	火4		小野 基	漢文またはサンスクリットで文献を講読し、アジアの諸文化の源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	オンライン(同時双方向型)
AB63G52	東洋宗教思想史演習II-a	2	1.0	2-4					漢文またはサンスクリットで文献を講読し、アジアの諸文化の源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	2022年度開講せず。オンライン(同時双方向型)
AB63G62	東洋宗教思想史演習II-b	2	1.0	2-4					漢文またはサンスクリットで文献を講読し、アジアの諸文化の源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	2022年度開講せず。オンライン(同時双方向型)
AB63G72	東洋宗教思想史演習II-c	2	1.0	2-4					漢文またはサンスクリットで文献を講読し、アジアの諸文化の源流であるインドの文化・宗教思想を知る礎とする。	2022年度開講せず。オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかオンラインで実施するかは後日周知。
AB63H12	西洋宗教思想史演習-a	2	1.0	2-4	春AB	火6		土井 裕人	西洋古代の宗教思想を中心に検討する。邦訳された研究書を使用し、参加者が輪番で準備したレジュメにより進める予定。電子シラバスを一読のこと。	オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63H22	西洋宗教思想史演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	火6		土井 裕人	西洋古代の宗教思想を中心に検討する。邦訳された研究書を使用し、参加者が輪番で準備したレジュメにより進める予定。電子シラバスを一読のこと。	オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63H32	西洋宗教思想史演習-c	2	1.0	2-4	秋C春季休業中	集中		土井 裕人	西洋古代の宗教思想を中心に検討する。邦訳された研究書を使用し、参加者が輪番で準備したレジュメにより進める予定。電子シラバスを一読のこと。	「西洋宗教思想史演習a(または-a)」および「西洋宗教思想史b(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。オンライン(同時双方向型)
AB63H52	宗教哲学演習-a	2	1.0	2-4	春AB	火4		保呂 篤彦	宗教研究の方法論や宗教哲学に關係する基本的なテキストを講読しながら、その内容について議論する。	オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63H62	宗教哲学演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	火4		保呂 篤彦	宗教研究の方法論や宗教哲学に關係する基本的なテキストを講読しながら、その内容について議論する。	オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63H72	宗教哲学演習-c	2	1.0	2-4	春C	火4,5		保呂 篤彦	宗教研究の方法論や宗教哲学に關係する基本的なテキストを講読しながら、その内容について議論する。	「宗教哲学演習a(または-a)」および「宗教哲学演習b(または-b)」を履修済あるいは履修中の者に限る。オンライン(同時双方向型)。対面授業を対面で実施するかは後日周知。
AB63J13	宗教学実習-A	3	1.0	2-4					日本国内の宗教施設等を訪れ、宗教の現場に接する。	哲学専攻以外の学生は事前相談のこと。西暦奇数年度開講。詳細後日周知。対面。その他の実施形態COVID-19の状況により変更があらう。
AB63J23	宗教学実習-B	3	1.0	2-4	秋C	集中		土井 裕人	日本国内の宗教施設等を訪れ、宗教の現場に接する。	西暦偶数年度開講。
AB63J51	人間社会と宗教	1	1.0	2-4	秋AB	月2		宮澤 安紀	社会学の基礎理論について、人間の社会における宗教を手がかりに学ぶ。	オンライン(オンデマンド型)
AB63K12	宗教学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		小野 基, 保呂 篤彦, 志田 泰盛, 土井 裕人	卒業論文執筆のための演習	その他の実施形態実施形態の詳細については、主査の教員からの指示に従うこと。
AB63K22	宗教学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		小野 基, 保呂 篤彦, 志田 泰盛, 土井 裕人	卒業論文執筆のための演習	その他の実施形態実施形態の詳細については、主査の教員からの指示に従うこと。
AB63K38	卒業論文(宗教学)	8	6.0	4	通年	随時		小野 基, 保呂 篤彦, 志田 泰盛, 土井 裕人	宗教学に関する卒業論文	

史学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB70A11	日本史概説I-a	1	1.0	1-2	春AB	木5		三谷 芳幸	奈良時代の政治・社会を中心に、日本古代史の諸問題を概説する。	実務経験教員。オンライン(オンデマンド型)
AB70A21	日本史概説I-b	1	1.0	1-2	秋AB	木5		三谷 芳幸	平安時代の政治・社会を中心に、日本古代史の諸問題を概説する。	実務経験教員。オンライン(オンデマンド型)
AB70A31	日本史概説II-a	1	1.0	1-2	春AB	火1		中野目 徹	日本史の近代・現代を思想史の問題として、とくに思想形成過程を解明する方法を中心に概説する。	ハイブリッド方式

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB70A41	日本史概説II-b	1	1.0	1・2	秋AB	火1		中野目 徹	日本史の近代・現代を思想史の問題として、とくに思想流通過程を媒体から解明する方法を中心に概説する。	ハイブリッド方式
AB70B11	古代西アジア史概説-a	1	1.0	1・2	春AB	金4		柴田 大輔	楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前三千年紀から二千年紀前半の古代西アジア史を講義する。	教職の教科に関する科目「オリエント史概説-a」に相当。
AB70B21	古代西アジア史概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	金4		山田 重郎	楔形文字文化圏に重点を置き、紀元前二千年紀後半から一千年紀の古代西アジア史を講義する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 教職の教科に関する科目「オリエント史概説-b」に相当。 オンライン(オンデマンド型)
AB70C11	中国史概説-a	1	1.0	1・2	春AB	木4		上田 裕之	「草原と中華の関係史」前編:農耕の始まりから10世紀まで。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(オンデマンド型)
AB70C21	中国史概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	木4		上田 裕之	「草原と中華の関係史」後編:11世紀から中華人民共和国の成立まで。	オンライン(オンデマンド型)
AB70E11	ヨーロッパ史概説-a	1	1.0	1・2	春AB	金6		村上 宏昭	中近世ヨーロッパの社会史について講義する。	オンライン(オンデマンド型)
AB70E21	ヨーロッパ史概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	金6		村上 宏昭	近現代ヨーロッパの社会史について講義する。	オンライン(オンデマンド型)
AB70F11	歴史地理学概説-a	1	1.0	1・2	春AB	木3		中西 僚太郎	歴史地理学とはどのような学問であるかについて、主として人口・都市・交通をテーマとして取り上げ解説する。	オンライン(オンデマンド型)
AB70F21	歴史地理学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3		中西 僚太郎	歴史地理学とはどのような学問であるかについて、主として産業・宗教・文化をテーマとして取り上げ解説する。	オンライン(オンデマンド型)

史学(日本史学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB71A11	日本史史料学I-a	1	1.0	2・3	春AB	木6		三谷 芳幸	行政文書を中心に、古代史料の検討をおこなう。	対面
AB71A21	日本史史料学I-b	1	1.0	2・3	秋AB	木6		三谷 芳幸	行政に関わる帳簿を中心に、古代史料の検討をおこなう。	対面
AB71A31	日本史史料学II-a	1	1.0	2・3						2022年度開講せず。
AB71A41	日本史史料学II-b	1	1.0	2・3						2022年度開講せず。
AB71A51	日本史史料学III-a	1	1.0	2・3	春AB	金2		中野目 徹	公文書を中心に近代史料の検討を行う。	ハイブリッド方式
AB71A61	日本史史料学III-b	1	1.0	2・3	秋AB	金4		田中 友香理	私文書を中心に近代史料の検討を行う。	対面を基本とする。
AB71B11	日本史特講I-a	1	1.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71B21	日本史特講I-b	1	1.0	2-4						2022年度開講せず。 詳細後日周知
AB71B31	日本史特講II-a	1	1.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71B41	日本史特講II-b	1	1.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71B51	日本史特講III-a	1	1.0	2-4	春AB	金4		田中 友香理	明治期の思想家について論じる。	対面を基本とする。
AB71B61	日本史特講III-b	1	1.0	2-4	秋AB	金2		中野目 徹	近代思想史の問題を政治とジャーナリズムの関係を中心に検討する。大正・昭和期の徳富蘇峰について論じる。	ハイブリッド方式
AB71B71	日本史特講IV-a	1	1.0	2-4	夏季休業中	集中			中世の政治を考察する。	詳細後日周知
AB71B81	日本史特講IV-b	1	1.0	2-4	春季休業中	集中			中世の社会を考察する。	詳細後日周知
AB71C11	日本史特講V-a	1	1.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71C21	日本史特講V-b	1	1.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71C31	日本史特講VI-a	1	1.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71C41	日本史特講VI-b	1	1.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71E12	日本史演習I-a	2	2.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71E22	日本史演習I-b	2	2.0	2-4						2022年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB71E32	日本史演習II-a	2	2.0	2-4	春AB	火3,4		中野目 徹, 田中友香理	明治期について論じた先行研究を輪読する。	対面授業
AB71E42	日本史演習II-b	2	2.0	2-4	秋AB	火3,4		中野目 徹, 田中友香理	明治期に関する文献史料(『明治天皇紀』)を精読する。	対面授業
AB71E52	日本史演習III-a	2	2.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71E62	日本史演習III-b	2	2.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71E72	日本史演習IV-a	2	2.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71E82	日本史演習IV-b	2	2.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71F12	日本史演習V-a	2	2.0	2-4	春AB	木3,4		三谷 芳幸	奈良・平安時代に関する法制史料を輪読する。	対面
AB71F22	日本史演習V-b	2	2.0	2-4	秋AB	木3,4		三谷 芳幸	奈良・平安時代に関する法制史料を精読する。	対面
AB71F32	日本史演習VI-a	2	2.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71F42	日本史演習VI-b	2	2.0	2-4						2022年度開講せず。
AB71G13	日本史実習-A	3	1.0	2-4	秋学期	応談		中野目 徹, 田中友香理	日本近代・現代史が営まれた場に赴きフィールドワークを行なう。	原則として、日本史演習II-a履修済かつ日本史演習II-b履修中の者を対象とする。含野外調査。対面
AB71G23	日本史実習-B	3	1.0	2-4	秋学期	応談		三谷 芳幸	古代史に関する史跡・展示施設等を訪れ、フィールドワークをおこなう。	原則として、日本史演習V-a履修済かつ日本史演習V-b履修中の者を対象とする。含野外調査。対面
AB71G33	日本史実習-C	3	1.0	2-4						2022年度開講せず。含野外調査。対面
AB71K12	日本史研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		中野目 徹, 三谷芳幸, 田中友香理	卒業論文作成の指導を行なう。	対面
AB71K22	日本史研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		中野目 徹, 三谷芳幸, 田中友香理	卒業論文執筆の指導を行なう。	対面
AB71K38	卒業論文(日本史学)	8	6.0	4	通年	随時		中野目 徹, 三谷芳幸, 田中友香理	日本史学に関する卒業論文。	対面

史学(ユーラシア史学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB72A12	アッカド語初級I	2	1.0	1-2	春A	木5,6		柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に名詞について学ぶ。	対面
AB72A22	アッカド語初級II	2	1.0	1-2	春B	木5,6		柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に強動詞のG語幹について学ぶ。	受講は「アッカド語初級I」の単位を取得したものに限り。対面
AB72A32	アッカド語初級III	2	1.0	1-2	秋A	木5,6		柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に強動詞のその他の語幹について学ぶ。	受講は「アッカド語初級II」の単位を取得したものに限り。対面
AB72A42	アッカド語初級IV	2	1.0	1-2	秋B	木5,6		柴田 大輔	アッカド語の初級文法と簡単な楔形文字について学習する。特に弱動詞について学ぶ。	受講は「アッカド語初級III」の単位を取得したものに限り。対面
AB72C12	古代西アジア史文献学I-a	2	1.0	2-4	春AB	金2		山田 重郎	古バビロニア時代の王碑文を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限り。西暦偶数年度開講。
AB72C22	古代西アジア史文献学I-b	2	1.0	2-4	秋AB	金2		山田 重郎	新アッシリア時代の王碑文を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限り。西暦偶数年度開講。対面
AB72C32	古代西アジア史文献学II-a	2	1.0	2-4					『ハンムラビ法典』を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限り。西暦奇数年度開講。
AB72C42	古代西アジア史文献学II-b	2	1.0	2-4					古バビロニア時代の平易な書簡を講読する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限り。西暦奇数年度開講。オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB72C52	古代西アジア史文献学 I11-a	2	1.0	2-4	春A	金5,6		柴田 大輔	文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	受講は「アッカド語初級b」もしくは「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限定する。 西暦偶数年度開講。
AB72C62	古代西アジア史文献学 I11-b	2	1.0	2-4	春B	金5,6		柴田 大輔	文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	受講は「アッカド語初級b」もしくは「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限定する。 西暦偶数年度開講。
AB72C72	古代西アジア史文献学 IV-a	2	1.0	2-4	秋A	金5,6		柴田 大輔	文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	受講は「アッカド語初級b」もしくは「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限定する。 西暦偶数年度開講。
AB72C82	古代西アジア史文献学 IV-b	2	1.0	2-4	秋B	金5,6		柴田 大輔	文語バビロニア語の文学・宗教文書を講読する。	受講は「アッカド語初級b」もしくは「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限定する。 西暦偶数年度開講。 対面
AB72D12	古代西アジア史文献学 V-a	2	1.0	2-4					バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「アッカド語初級b」もしくは「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限定する。 西暦奇数年度開講。
AB72D22	古代西アジア史文献学 V-b	2	1.0	2-4					バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「アッカド語初級b」もしくは「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限定する。 西暦奇数年度開講。
AB72D32	古代西アジア史文献学 VI-a	2	1.0	2-4					バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「アッカド語初級b」もしくは「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限定する。 西暦奇数年度開講。
AB72D42	古代西アジア史文献学 VI-b	2	1.0	2-4					バビロニア語文学・宗教文書を講読する。	受講は「アッカド語初級b」もしくは「アッカド語初級IV」の単位を取得したものに限定する。 西暦奇数年度開講。
AB72F11	古代西アジア史特講 I-a	1	1.0	2・3	春AB	金3		山田 重郎	古代西アジア史に関する講義を行う。	教職の教科に関する科目「オリエント史特講 I-a」に相当。
AB72F21	古代西アジア史特講 I-b	1	1.0	2・3	秋AB	金3		柴田 大輔	古代西アジア史に関する講義を行う。	教職の教科に関する科目「オリエント史特講 I-b」に相当。
AB72F31	古代西アジア史特講 II-a	1	1.0	2・3					古代西アジア史に関する講義を行う。	教職の教科に関する科目「オリエント史特講 II-a」に相当。 2022年度開講せず。 2021/4/9 開講中止決定
AB72F41	古代西アジア史特講 II-b	1	1.0	2・3					古代西アジア史に関する講義を行う。	教職の教科に関する科目「オリエント史特講 II-b」に相当。 2022年度開講せず。 2021/4/9 開講中止決定
AB72H12	古代西アジア史演習 I-a	2	2.0	3・4					古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限定する。 2020年度より2年おき開講。
AB72H22	古代西アジア史演習 I-b	2	2.0	3・4					古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限定する。 2020年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB72H32	古代西アジア史演習 II-a	2	2.0	3・4					古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限定する。 2021年度より2年おき開講。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB72H42	古代西アジア史演習II-b	2	2.0	3・4					古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限定する。 2021年度より2年おき開講。 対面
AB72H52	古代西アジア史演習III-a	2	2.0	3・4	春AB	火3,4		山田 重郎, 柴田 大輔	古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限定する。 2022年度より2年おき開講。 対面
AB72H62	古代西アジア史演習III-b	2	2.0	3・4	秋AB	火3,4		山田 重郎, 柴田 大輔	古代西アジア史の研究に取り組む学生の演習。自らの研究課題について発表し、また討論する。	受講は「アッカド語初級IV」もしくは「アッカド語初級b」の単位を取得したものに限定する。 2022年度より2年おき開講。 対面
AB73A12	中国史文献学I-a	2	1.0	1-3					中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための基礎的能力を身につける。	2021年度より2年おき開講。 対面
AB73A22	中国史文献学I-b	2	1.0	1-3					中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための実践的能力を身につける。	2021年度より2年おき開講。 対面
AB73A32	中国史文献学II-a	2	1.0	1-3	春AB	火1		丸山 宏	中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための基礎的能力を身につける。	2022年度より2年おき開講。 対面
AB73A42	中国史文献学II-b	2	1.0	1-3	秋AB	火1		丸山 宏	中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための実践的能力を身につける。	2022年度より2年おき開講。 対面
AB73A52	中国史文献学III-a	2	1.0	1-3					中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための基礎的能力を身につける。	2020年度より2年おき開講。
AB73A62	中国史文献学III-b	2	1.0	1-3					中国史を研究する上で必要とされる、比較的平明な漢文を読み解くための実践的能力を身につける。	2020年度より2年おき開講。 対面
AB73C12	満洲語文語基礎-a	2	1.0	1-3					清朝の公用語である満洲語の文字・文法と満洲語史料の基礎知識を、講義と史料講読を通じて習得する。	西暦奇数年度開講。
AB73C22	満洲語文語基礎-b	2	1.0	1-3					史料講読を通じて、清朝の公用語である満洲語の文法に関する知識を定着させ、満洲語史料の読解力の向上を図る。	この科目の受講は「満洲語文語基礎-a」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦奇数年度開講。
AB73C32	満洲語文語-a	2	1.0	1-3	春AB	木6		岩田 啓介	清朝の内陸アジア政策に関する満洲語の編纂史料を講読し、満洲語史料を読み解くための実践的知識を獲得する。	この科目の受講は「満洲語文語基礎-a」「同-b」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦偶数年度開講。
AB73C42	満洲語文語-b	2	1.0	1-3	秋AB	木6		岩田 啓介	清朝の内陸アジア政策に関する檔案史料(公文書)を講読し、満洲語史料を読み解くための応用的能力を獲得する。	この科目の受講は「満洲語文語基礎-a」「同-b」の単位を既に取得した学生に限る。 西暦偶数年度開講。
AB73F11	中国史特講I-a	1	1.0	2-4					17世紀に成立した清朝(ダイチン・グルン)の特徴を、周辺諸勢力との関係を踏まえて多角的な視点から解説する。それを通じて、清朝の統治構造と国家論に関する知識を深めることを目標とする。	西暦奇数年度開講。 対面
AB73F21	中国史特講I-b	1	1.0	2-4					17~18世紀における清朝と内陸アジア諸勢力との関係について、特にチベットとその境界地帯の勢力に着目して解説する。それを通じて、清朝の内陸アジア政策の特徴とそれを規定した多面的な要因についての理解を深める。	西暦奇数年度開講。 対面
AB73H12	中国史演習I-a	2	2.0	2	春AB	月3,4		上田 裕之	中国史サブコースに進むことを希望しない検討している人文学類2年生のゼミ。中国史に関する論文を精読し、研究動向・研究方法に批判的検討を加える。	「中国史文献学」を履修していない学生は、事前に担当教員に申し出ることを。 対面
AB73H22	中国史演習I-b	2	2.0	2	秋AB	月3,4		岩田 啓介	中国史サブコースに進むことを希望しない検討している人文学類2年生のゼミ。中国史(主に漢地以外の研究)に関する論文を精読し、研究動向・研究方法に批判的検討を加える。	「中国史文献学」を履修していない学生は、事前に担当教員に申し出ることを。 対面
AB73H32	中国史演習II-a	2	2.0	3・4	春AB	火3,4		岩田 啓介	人文学類中国史サブコース3・4年生のゼミ。内陸アジアの歴史を研究しようとする学生を対象とする。自らの研究テーマに関する先行研究を精読し、そこに批判的検討を加えることを通じて、卒業論文に向けて自らの研究課題を明確化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」を既に2.0単位以上取得した中国史サブコース3・4年生に限る。 対面
AB73H42	中国史演習II-b	2	2.0	3・4	秋AB	火3,4		岩田 啓介	人文学類中国史サブコース3・4年生のゼミ。内陸アジアの歴史を研究しようとする学生を対象とする。自らの研究課題に即して先行研究および史料を調査・収集し、そこに批判的検討を加えることを通じて、卒業論文に向けて自らの研究を具体化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」を既に2.0単位以上取得した中国史サブコース3・4年生に限る。 対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB73H52	中国史演習III-a	2	2.0	3・4	春AB	火3,4		上田 裕之	人文学類中国史サブコース3・4年生のゼミ。漢地の歴史を研究しようとする学生を対象とする。自らの研究テーマに関する先行研究を精読し、そこに批判的検討を加えることを通して、卒業論文に向けて自らの研究課題を明確化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」を既に2.0単位以上取得した中国史サブコース3・4年生に限る。対面
AB73H62	中国史演習III-b	2	2.0	3・4	秋AB	火3,4		上田 裕之	人文学類中国史サブコース3・4年生のゼミ。漢地の歴史を研究しようとする学生を対象とする。自らの研究課題に即して先行研究および史料を調査・収集し、そこに批判的検討を加えることを通して、卒業論文に向けて自らの研究を具体化していくことを目標とする。	この科目の受講は「中国史文献学」を既に2.0単位以上取得した中国史サブコース3・4年生に限る。対面
AB74A12	ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a	2	1.0	1・2	春C	集中			ヨーロッパ・アメリカ史の英文入門書を講読する。	この科目の単位取得が、「ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a」～「ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b」の履修条件になる。オンライン(同時双方向型)
AB74A22	ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-b	2	1.0	1・2	秋C	集中			ヨーロッパ・アメリカ史に関する基礎的な英文研究書・論文を講読する。	この科目の単位取得が、「ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a」～「ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b」の履修条件になる。オンライン(同時双方向型)
AB74C12	ヨーロッパ・アメリカ史文献学I-a	2	1.0	2-4	春AB	木4		小野 二葉	ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。対面
AB74C22	ヨーロッパ・アメリカ史文献学I-b	2	1.0	2-4	秋AB	木4		小野 二葉	ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	西暦偶数年度開講。対面
AB74C32	ヨーロッパ・アメリカ史文献学II-a	2	1.0	2-4					ヨーロッパ近現代史に関するドイツ語文献を講読する。	西暦奇数年度開講。オンライン(同時双方向型)
AB74C42	ヨーロッパ・アメリカ史文献学II-b	2	1.0	2-4					ヨーロッパ近現代史に関する欧米文献を講読する。	西暦奇数年度開講。オンライン(同時双方向型)
AB74H12	ヨーロッパ・アメリカ史演習I-a	2	2.0	3・4					ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限り、2021年度より2年おき開講。対面
AB74H22	ヨーロッパ・アメリカ史演習I-b	2	2.0	3・4					ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限り、2021年度より2年おき開講。対面
AB74H32	ヨーロッパ・アメリカ史演習II-a	2	2.0	3・4	春AB	火5,6		村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限り、2022年度より2年おき開講。オンライン(同時双方向型)
AB74H42	ヨーロッパ・アメリカ史演習II-b	2	2.0	3・4	秋AB	火5,6		村上 宏昭	ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限り、2022年度より2年おき開講。オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB74H52	ヨーロッパ・アメリカ史演習III-a	2	2.0	3・4					ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限る。 2020年度より2年おき開講。
AB74H62	ヨーロッパ・アメリカ史演習III-b	2	2.0	3・4					ヨーロッパ・アメリカ史の研究に取り組む学生の演習。自ら設定した課題について発表し、討論する。	この科目の受講は「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読a」・「同b」もしくは「ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献購読-a」・「同-b」の単位を取得したものに限る。 2020年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB74K12	ユーラシア史研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		柴田 大輔, 山田重郎, 岩田 啓介, 上田 裕之, 村上宏昭	ユーラシア史に関する卒業論文作成の指導を行う。	対面
AB74K22	ユーラシア史研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		柴田 大輔, 山田重郎, 岩田 啓介, 上田 裕之, 村上宏昭	ユーラシア史に関する卒業論文作成の指導を行う。	対面
AB74K38	卒業論文(ユーラシア史学)	8	6.0	4	通年	随時		柴田 大輔, 山田重郎, 岩田 啓介, 上田 裕之, 村上宏昭	ユーラシア史学に関する卒業論文。	

史学(歴史地理学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB75A11	歴史地誌学-a	1	1.0	2・3					日本の地理的諸事象を東日本と西日本、太平洋側と日本海側などの地域差に注目しながら、相互に関連付けて理解する。	西暦奇数年度開講。
AB75A21	歴史地誌学-b	1	1.0	2・3	秋C	木4,5		中西 僚太郎	中国・朝鮮半島を含む東アジアの歴史地理的諸事象を、各事象の大陸と半島、沿岸部と内陸部などの地域差に注目しながら、相互に関連付けて理解する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB75A31	歴史地理学研究法-a	1	1.0	2・3					歴史地理学研究における近世および近代史料の扱い方について教授する。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)。対面
AB75A41	歴史地理学研究法-b	1	1.0	2・3					歴史地理学研究における読図や作図の方法、GISの活用方法について教授する。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)。対面
AB75A51	歴史地理学特講-a	1	1.0	2・3					ヨーロッパの歴史地理を、系統地理的な分野別に概観することによって、ヨーロッパの空間的な形成過程について概説する。	両日ともに1-5限で実施。 西暦奇数年度開講。 対面 欧米歴史地理学講義aの単位取得者は履修できない。
AB75A61	歴史地理学特講-b	1	1.0	2・3					ヨーロッパの中でも、とくにフランスの歴史地理を取り上げ、その歴史的展開を時間軸に沿って概説する。	両日ともに1-5限実施。 西暦奇数年度開講。 対面 欧米歴史地理学講義bの単位取得者は履修できない。
AB75B12	歴史地理学文献演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	金4		中西 僚太郎	歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB75B22	歴史地理学文献演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	金4		中西 僚太郎	歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	受講者は「歴史地理学文献演習I-a」を修得したものに限る。 2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB75B32	歴史地理学文献演習I-c	2	1.0	2-4	秋C	金4,5		中西 僚太郎	歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	受講者は「歴史地理学文献演習I-a」「同b」を修得したものに限る。 2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB75B42	歴史地理学文献演習II-a	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2020年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB75B52	歴史地理学文献演習II-b	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	2020年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB75B62	歴史地理学文献演習II-c	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	2020年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB75B72	歴史地理学文献演習III-a	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の方法論について解説を加える。	2021年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB75B82	歴史地理学文献演習III-b	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	2021年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB75B92	歴史地理学文献演習III-c	2	1.0	2-4					歴史地理学に関する英文のテキストを購読し、それを基に歴史地理学の諸問題について解説を加える。	2021年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB75C12	歴史地理学演習I-a	2	2.0	2-4					歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、論文の構成方法、まとめ方などを学ぶ。	2021年度より2年おき開講。 対面
AB75C22	歴史地理学演習I-b	2	2.0	2-4					歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	2021年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型)
AB75C32	歴史地理学演習II-a	2	2.0	2-4	春AB	木4,5		中西 僚太郎	歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、論文の構成方法、まとめ方などを学ぶ。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2022年度より2年おき開講。 対面
AB75C42	歴史地理学演習II-b	2	2.0	2-4	秋AB	木4,5		中西 僚太郎	歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	受講者は「歴史地理学演習II-a」を修得したものに限る。歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2022年度より2年おき開講。 対面
AB75C52	歴史地理学演習III-a	2	2.0	2-4					歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、論文の構成方法、まとめ方などを学ぶ。	2020年度より2年おき開講。 対面
AB75C62	歴史地理学演習III-b	2	2.0	2-4					歴史地理学の研究手法の習得を目的とする。学術雑誌論文の購読を通して、資料の収集と解読法、図化の手法などを学ぶ。	2020年度より2年おき開講。 対面
AB75E13	歴史地理学実習-A	3	2.0	2-4	通年	集中		中西 僚太郎	歴史地理学研究に必要とされる文献調査、聞き取り調査や野外観察の方法を現地指導する。	歴史地理学コース希望の学生は2年次から履修すること。 2022年度より2年おき開講。 6/4, 6/11, 10/28-11/1 詳細後日周知。対面
AB75E23	歴史地理学実習-B	3	2.0	2-4					歴史地理学研究に必要とされる文献調査、聞き取り調査や野外観察の方法を現地指導する。	2020年度より2年おき開講。 詳細後日周知。対面
AB75E33	歴史地理学実習-C	3	2.0	2-4					歴史地理学研究に必要とされる文献調査、聞き取り調査や野外観察の方法を現地指導する。	2021年度より2年おき開講。 詳細後日周知。対面
AB75K12	歴史地理学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		中西 僚太郎	歴史地理学コースの学生の卒論指導を春学期に即して行う。	対面
AB75K22	歴史地理学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		中西 僚太郎	歴史地理学コースの学生の卒論指導を秋学期に即して行う。	対面
AB75K38	卒業論文(歴史地理学)	8	6.0	4	通年	随時		中西 僚太郎	歴史地理学コースの卒業論文である。	対面

考古学・民俗学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB80A11	先史学概説-a	1	1.0	1・2	春AB	金3		三宅 裕	人類史を理解するための方法・内容について具体的な事例を提示しつつ解説する。人類の誕生・進化の過程をたどり、いまや人口が70億人になり、地球上のほぼあらゆる場所に生息するようになった私たち自身がどのような存在であるのか考える。	オンライン(オンデマンド型) 授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB80A21	先史学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	金3		三宅 裕	人類史を理解するために先史学では何が行われているのか、具体的な事例を扱いながら解説する。環境考古学と呼ばれる分野を中心に、動植物資料を対象にした古環境や生業の分析方法などについて講義する。	オンライン(オンデマンド型) 授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB80B11	考古学概説-a	1	1.0	1・2	春AB	木3		滝沢 誠	考古学とはどのような学問か。考古学の射程と限界について、研究の到達点と問題点に言及しつつ解説する。とくに、考古学の方法について講義をおこなう。	対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB80B21	考古学概説-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3		滝沢 誠	考古学とはどのような学問か。考古学の射程と限界について、研究の到達点と問題点に言及しつつ解説する。とくに、日本考古学の成果と課題について講義をおこなう。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB80C11	民俗学概説	1	1.0	1・2	春AB	金4		中野 泰	日本の民俗学の誕生と、20世紀における展開について、柳田国男、桜田勝徳等の研究者を取り上げ、その思想と方法に焦点を当てて概説し、民俗学的思考法の課題と可能性を考察する。	考古学・民俗学専攻希望の学生はAC50E11と合わせて民俗学の専門基礎科目とする。★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) manabaで後日通知する
AB80E11	文化人類学概説	1	1.0	1・2	秋AB	木4			諸社会は世界をどのように知覚してきたのか?理解してきたのか?文化的な活動に焦点を当てて、そこに見いだされる人間集団の根本的な問題について考察する。	考古学・民俗学専攻希望の学生はAC50E01と合わせて文化人類学の専門基礎科目とする 詳細はmanabaで後日通知する
AB80E21	文化人類学概説-b	1	1.0	1・2						2022年度開講せず。

考古学・民俗学(先史学・考古学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB81B11	先史学特講I-a	1	1.0	2-4	春AB	火4		三宅 裕, 板橋 悠	先史学研究にもとめられる人類史と地球環境史に関する学際的な知識を身に付けることを目的とし、人類が取り巻く環境やその変化にどの様に適応してきたかを論じていく。	西暦偶数年度開講。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB81B21	先史学特講I-b	1	1.0	2-4	秋AB	火4		三宅 裕, 板橋 悠	先史学研究にもとめられる人類史と地球環境史に関する学際的な知識を身に付けることを目的とし、ヒトが社会や文化の発展と共に農耕や集落構築などを通じていかに環境を改変してきたかを論じていく。	西暦偶数年度開講。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB81B31	先史学特講II-a	1	1.0	2-4					TBA	西暦奇数年度開講。
AB81B41	先史学特講II-b	1	1.0	2-4					TBA	西暦奇数年度開講。
AB81B51	先史学特講III-a	1	1.0	2-4					ものづくりの新しい技術体系であるパイロテクノロジー(熱加工技術)について、具体的事例に触れながら理解を深める。新石器時代にはすでに始まっていた銅の利用を取り上げる。	西暦奇数年度開講。 オンライン(オンデマンド型) 授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB81B61	先史学特講III-b	1	1.0	2-4					ものづくりの新しい技術体系であるパイロテクノロジー(熱加工技術)について、具体的事例に触れながら理解を深める。金や銀などの貴金属利用の歴史を取り上げる。	西暦奇数年度開講。 オンライン(オンデマンド型) 授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB81B71	先史学特講IV-a	1	1.0	2-4	春AB	月4		三宅 裕	アナトリア(トルコ)の事例を中心に、西アジアの先史時代を概観する。旧石器時代から新石器時代までの人類の適応戦略について検討する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型) 授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB81B81	先史学特講IV-b	1	1.0	2-4	秋AB	月4		三宅 裕	アナトリア(トルコ)の事例を中心に、西アジアの先史時代から古代について概観する。銅石器時代から青銅器時代までの、都市化の過程と都市社会について検討する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型) 授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB81H13	先史学実習-A	3	1.0	2-4					1週間の野外・室内実習を行う。	2019年度より3年おき開講。
AB81H23	先史学実習-B	3	1.0	2-4					1週間の野外・室内実習を行う。	2020年度より3年おき開講。 対面
AB81H33	先史学実習-C	3	1.0	2-4					1週間の野外・室内実習を行う。	2021年度より3年おき開講。 対面
AB81H43	先史学実習-D	3	1.0	2-4	秋学期	集中		三宅 裕, 谷口 陽子, 板橋 悠	1週間の野外・室内実習を行う。	2022年度より3年おき開講。 対面
AB82B11	考古学特講I-a	1	1.0	2-4					日本列島における国家の出現や基層文化の形成を中心テーマとし、古墳時代をめぐる諸問題について講義を行う。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB82B21	考古学特講I-b	1	1.0	2-4					日本列島における国家の形成を中心テーマとし、古墳時代の社会と文化について講義を行う。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB82B31	考古学特講II-a	1	1.0	2-4	春AB	月5		滝沢 誠	東アジア世界(おもに朝鮮半島)との交流をテーマとし、古墳時代の社会と文化について講義をおこなう。	西暦偶数年度開講。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB82B41	考古学特講II-b	1	1.0	2-4	秋AB	月5		滝沢 誠	古墳時代の鉄器生産(主に武器・武具)をとりあげ、それらが国家形成期の日本列島社会に果たした役割について講義をおこなう。	西暦偶数年度開講。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB82B51	考古学特講III-a	1	1.0	2-4					遺物から過去の社会を研究する一例として石器研究を取り上げ、概説的な知識から専門的な研究実践のノウハウまで、包括的なスキルを習得することを目指す。おもに、石材の獲得、石器の製作技術、使用方法について解説する。	西暦奇数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB82B61	考古学特講III-b	1	1.0	2-4					遺物から過去の社会を研究する一例として石器研究を取り上げ、概説的な知識から専門的な研究実践のノウハウまで、包括的なスキルを習得することを目指す。おもに、石器の型式について、日本と西アジアの石器をとりあげて解説する。	西暦奇数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB82B71	考古学特講IV-a	1	1.0	2-4	春AB	木4		前田 修	考古学研究における理論と方法の多様性について、生業・技術・交易・ジェンダー研究など事例を取り上げて解説する。	西暦偶数年度開講。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB82B81	考古学特講IV-b	1	1.0	2-4	秋AB	木4		前田 修	考古学研究における理論と方法の多様性について、住居・服飾・儀礼・埋葬研究などの事例を取り上げて解説する。	西暦偶数年度開講。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB82H13	考古学実習-A	3	1.0	2-4					1週間程度の野外実習を行う。 受講生は、定められた実習期間のうち必要な日数分の野外実習に参加する。	2021年度より3年おき開講。 対面
AB82H23	考古学実習-B	3	1.0	2-4	秋学期	集中		滝沢 誠, 前田 修	1週間の野外実習を行う。 受講生は、定められた実習期間のうち必要な日数分の野外実習に参加する。	2022年度より3年おき開講。
AB82H33	考古学実習-C	3	1.0	2-4					1週間の野外実習を行う。	2019年度より3年おき開講。
AB82H43	考古学実習-D	3	1.0	2-4					考古学研究の基本となる遺跡の調査方法を学ぶため、1週間の野外実習をおこなう。	2020年度より3年おき開講。 対面
AB83A11	物質資料研究法-a	1	1.0	1-2	春AB	木6		前田 修	実物資料に触れながら、物質資料研究に必要な室内調査(遺物の分析)の基本技術を学ぶ。	使用する器材の数に限りがあるため、以下に該当する学生のみ履修を制限します。 ・人文学類および総合学域群の1年生で、人文学類考古学・民俗学専攻あるいは史学専攻に進む予定の者。 ・人文学類の2-4年生で、先史学・考古学演習を履修予定あるいは履修済みの者。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB83A21	物質資料研究法-b	1	1.0	1-2	秋AB	木6		前田 修	実物資料に触れながら、考古学研究に必要な室内調査(遺物の図化)の基本技術を学ぶ。	使用する器材の数に限りがあるため、以下に該当する学生のみ履修を制限します。 ・人文学類および総合学域群の1年生で、人文学類考古学・民俗学専攻あるいは史学専攻に進む予定の者。 ・人文学類の2-4年生で、先史学・考古学演習を履修予定あるいは履修済みの者。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB83A31	物質資料研究法-c	1	1.0	1-2	春C	集中		前田 修	考古学研究に必要な野外調査の基本技術(地形測量)を学ぶ。	使用する器材の数に限りがあるため、以下に該当する学生のみ履修を制限します。 ・人文学類および総合学域群の1年生で、人文学類考古学・民俗学専攻あるいは史学専攻に進む予定の者。 ・人文学類の2-4年生で、先史学・考古学演習を履修予定あるいは履修済みの者。 対面 授業形態は状況に応じてオンラインほかに変更する可能性がある
AB83C11	先史学・考古学外書講読I-a	1	1.0	2-3					専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。要予習。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB83C21	先史学・考古学外書講読I-b	1	1.0	2-3					専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB83C31	先史学・考古学外書講読II-a	1	1.0	2・3	春AB	金4		谷口 陽子	グループごとに専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。オンライン(同時双方向型)授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB83C41	先史学・考古学外書講読II-b	1	1.0	2・3	秋AB	金4		谷口 陽子	グループごとに専門分野の英語書籍、論文を購読し、内容について議論する。ピア・レビュー形式。要予習。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。オンライン(同時双方向型)授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB83E11	考古学方法論I-a	1	1.0	2・3					考古学研究に用いられる自然科学的な方法論を解説し、実習的に植物遺存体の分析方法を学ぶ。	試料、機材の数に限りがあるため、20名程度に履修人数を制限します。人文学類先史学・考古学コース専攻(予定)の学生を優先します。西暦奇数年度開講。
AB83E21	考古学方法論I-b	1	1.0	2・3					先史時代から利用されている物質を、製作技法・材料の点から解説する。	西暦奇数年度開講。実務経験教員。オンライン(同時双方向型)
AB83E31	考古学方法論II-a	1	1.0	2・3	春AB	金2		谷口 陽子	考古民族的な調査法や考古科学によって明らかにされつつある物質生産の歴史と技術を解説する。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。オンライン(同時双方向型)授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB83E41	考古学方法論II-b	1	1.0	2・3	秋AB	金2		谷口 陽子	彩色を持つ文化遺産を中心に、古典技法書と考古遺物の化学分析による結果に触れながら考古学的な解釈を行う。	西暦偶数年度開講。実務経験教員。オンライン(同時双方向型)授業形態は状況に応じて変更する可能性がある
AB83F12	先史学・考古学演習I-a	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2021年度より3年おき開講。実務経験教員。対面
AB83F22	先史学・考古学演習I-b	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2021年度より3年おき開講。対面
AB83F32	先史学・考古学演習I-c	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2021年度より3年おき開講。対面
AB83F42	先史学・考古学演習II-a	2	1.0	2・3	春AB	火3		三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2022年度より3年おき開講。対面
AB83F52	先史学・考古学演習II-b	2	1.0	2・3	秋AB	火3		三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2022年度より3年おき開講。対面
AB83F62	先史学・考古学演習II-c	2	1.0	2・3	春C秋C	火3		三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2022年度より3年おき開講。対面
AB83G12	先史学・考古学演習III-a	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2019年度より3年おき開講。
AB83G22	先史学・考古学演習III-b	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2019年度より3年おき開講。
AB83G32	先史学・考古学演習III-c	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2019年度より3年おき開講。
AB83G42	先史学・考古学演習IV-a	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2020年度より3年おき開講。
AB83G52	先史学・考古学演習IV-b	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2020年度より3年おき開講。オンライン(同時双方向型)
AB83G62	先史学・考古学演習IV-c	2	1.0	2・3					先史学、考古学に関する研究テーマを各自で探求し、それを深化させることを目標に、ゼミ形式で演習を行う。	2020年度より3年おき開講。オンライン(オンデマンド型)
AB83K12	先史学・考古学研究-a	2	2.0	4	春ABC	水2		三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する卒業論文の指導を行う。	対面
AB83K22	先史学・考古学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	水2		三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学、考古学に関する卒業論文の指導を行う。	対面

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB83K38	卒業論文(先史学・考古学)	8	6.0	4	通年	随時		三宅 裕, 滝沢 誠, 谷口 陽子, 前田 修, 板橋 悠	先史学・考古学に関する卒業論文。	

考古学・民俗学(民俗学・文化人類学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB84A11	民俗学特講-a	1	1.0	2-4	春AB	月5		武井 基晃	民俗学の事例分析を通して、調査の視点・研究の方法の検討を行う。	2018年度以前の民俗学特講a(AB84111)の単位取得者は履修できない。 対面 manabaで通知する
AB84A21	民俗学特講-b	1	1.0	2-4	秋AB	月5		武井 基晃	最新の研究事例を検討し、民俗学の理論的展望を考える。	2018年度以前に民俗学特講a・b(AB84111, AB84121)両方の単位を取得済みの者は履修できない。 対面 manabaで通知する
AB84A31	民俗学特講-c	1	1.0	2-4	春C	月4,5		武井 基晃	東アジアの民俗儀礼について講義する	2018年度以前の民俗学特講b(AB84121)の単位取得者は履修できない。 対面 manabaで通知する
AB84B11	民俗史料講義-a	1	1.0	2-4					民俗・生活などについて書かれた近世における一般向けの読み物を扱い、民俗学の史料批判のあり方を検討する。	2018年度以前の民俗史料講義1の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
AB84B21	民俗史料講義-b	1	1.0	2-4					民俗について書かれた様々な資料を幅広く扱い、民俗学における史料批判のあり方を検討する。	2018年度以前の民俗史料講義1の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
AB84B31	民俗史料講義-c	1	1.0	2-4					明治時代に刊行された民俗の報告などを中心に、民俗学における史料批判のあり方を検討する。	2018年度以前の民俗史料講義1の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
AB84C12	民俗学研究法-a	2	1.0	3	春AB	金3		徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に課題設定のしかたについて指導を行う。	民俗学で卒業論文を書く人文学類生に限る 対面 manabaで通知する
AB84C22	民俗学研究法-b	2	1.0	3	秋AB	金3		徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に調査計画の立てかた、調査成果の報告のしかたや論文作成の指導を行う。	民俗学で卒業論文を書く人文学類生に限る 対面 manabaで通知する
AB84C32	民俗学研究法-c	2	1.0	3	春C秋C	金3		徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃	民俗学の卒業論文に取り組む人文学類の3年生を対象に調査成果の分析のしかたや論文作成の指導を行う。	民俗学で卒業論文を書く人文学類生に限る 対面 manabaで通知する
AB84E12	民俗学演習-a	2	1.0	2-4	春AB	月3		武井 基晃	民俗学の最新の論文を検討する。特に論文内の問いと答え、目的と成果を明確に意識して読むことを学ぶ。	人文学類と比較文化学類の学生に限る。2018年度以前の民俗学演習、民俗学研究演習IIIの単位取得者は履修できない。 対面 詳細はmanabaで通知
AB84E22	民俗学演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	月3		武井 基晃	問い・目的の立て方を軸に論文を読み、構成や事例の提示のしかたなど論文作成の方法を身に付ける。	人文・文化学群の学生に限る。2018年度以前の民俗学演習の単位取得者は履修できない。 対面 詳細はmanaba参照
AB84E32	民俗学演習-c	2	1.0	2-4	秋C	月3,4		武井 基晃	民俗学の最新の論文について、特に論文の問いと研究史の連関について学ぶ。	人文学類の学生に限る。2018年度以前の民俗学演習の単位取得者は履修できない。 対面
AB84E52	比較民俗学演習-a	2	1.0	2-4	春AB	火3		中野 泰	民俗学における比較の意義を、外国語文献も含めて輪読し、検討する。	人文学類と比較文化学類の学生に限る。2018年度以前の比較民俗学演習、民俗学研究演習IVの単位取得者は履修できない。
AB84E62	比較民俗学演習-b	2	1.0	2-4	秋AB	火3		中野 泰	民俗学における比較の意義を、テーマ研究発表・ディスカッションを通じて考察する。	人文学類の学生に限る。2018年度以前の比較民俗学演習の単位取得者は履修できない。 対面
AB84E72	比較民俗学演習-c	2	1.0	2-4	春C	火3,4		中野 泰	民俗学における比較の理論的位置づけについて、議論を行い、その位置づけを表現する作法を身に付ける。	人文学類の学生に限る。2018年度以前の比較民俗学演習の単位取得者は履修できない。
AB84F11	民俗学調査法-A	1	1.0	2-4					民俗学のフィールドワークの調査法について、実際に調査に出るために不可欠な事前指導を行う。民俗学を専攻(希望)する学生を対象とし、民俗学の専門基礎科目の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB84F21	民俗学調査法-B		1	1.0	2-4	春BC	水6	徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃	民俗調査のフィールドワークに実際に出ることを想定し、調査法について事前準備を行う。民俗学を専攻(希望)する学生を対象とし、民俗学の専門基礎科目の履修が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。 対面 詳細はmanabaで通知
AB84G15	民俗学実習-A		5	2.0	2-4				秋に合宿してフィールドワークを行う。民俗学を専攻(希望)する学生を対象とする。民俗学の専門基礎科目、春学期の民俗学調査法の履修および事前学習への積極的な出席、夏季休業中に課すレポートの提出が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。 合野外調査
AB84G25	民俗学実習-B		5	2.0	2-4	秋ABC	水6, 集中	徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃	秋に合宿してフィールドワークを行う。民俗学を専攻(希望)する学生を対象とする。民俗学の専門基礎科目、春学期の民俗学調査法の履修および事前学習への積極的な出席、夏季休業中に課すレポートの提出が参加資格となる。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。 合野外調査 詳細はmanabaで通知
AB85A11	文化人類学講義I-a		1	1.0	2-4				人類学はフィールドワークと先行の民族誌と理論の間のインタラクティブな関係から生まれる。フィールドワークで得られたデータをどの記述概念を使って記述して、どの分析概念を使って考察するのかは、極めて重要だ。民族誌を批判的に使いつつ、人類学における概念の役割について考察する。	2018年度以前の文化人類学講義Ia (AB85111)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
AB85A21	文化人類学講義I-b		1	1.0	2-4				食べるという行為は、私たちにとってありふれた日常的な営みである。本授業では、私たちの生に欠かすことのできない食をめぐるさまざまな実践、習慣、取り組み、儀礼などを事例とし、人類学的理論と結びつけながら食べるという行為を考える。	2018年度以前の文化人類学講義Ib (AB85121)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
AB85A31	文化人類学講義II-a		1	1.0	2-4	春AB	木2		本講義で、文化人類学の基礎となる理論や概念を紹介する。マルクス、デュルケムの古典的社会論からブルデュー、フーコー、近年のグローバリゼーション論、ポスト・ヒューマン理論を文化人類学的事例を通して取り上げる。	2018年度以前の文化人類学講義IIa (AB85131)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 詳細後日周知
AB85A41	文化人類学講義II-b		1	1.0	2-4	秋AB	木2		セックスとジェンダーの人類学: この講義では、セックスの生物学とジェンダーの社会的役割について説明する。ここでは霊長類学の研究から現代社会理論へと、広く人類学を定義する。	2018年度以前の文化人類学講義IIb (AB85141)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 詳細後日周知
AB85E12	文化人類学演習I-a		2	1.0	2-4				人類学の様々な民族誌を取り上げて、問題の立て方、記述の方法、根拠として使われたデータ、分析概念、導かれた答えについて批判的に検討を加え、民族誌の読み方と書き方について理解を深める。	2018年度以前の文化人類学演習Ia (AB85412)の単位取得者は履修できない。 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
AB85E22	文化人類学演習I-b		2	1.0	2-4	秋AB	応談		巨大なスケールのネットワークにおいてオペレートする原子力産業に関わる事なる多様な時間制と場所性について人類学はどのようにこれを記述し考察することができるのか。マルチサイト、マルチテンポラルな民族誌の可能性について議論する。	2018年度以前の文化人類学演習Ib (AB85422)の単位取得者は履修できない。 詳細後日周知
AB85E32	文化人類学演習II-a		2	1.0	2-4	春AB	木5		今般のオリンピックで話題となった「ダイバーシティ&インクルージョン」という概念について深く考えたことがあるだろうか。この演習では、「多様性を大切に」「少数民族や外国人の文化・伝統を守ろう」という呼びかけに終わらない歴史認識を持ちつつ、私たちの生きる世界において「異なること」をどうとらえればよいのかを考えていく。具体的なテーマとしてはエスニック・マイノリティ、人種、障害について扱う予定とする。 授業形式は、古典を含む文化人類学的な論考を輪読し、各回の発表とディスカッションによって進める。毎回全員が読んでいることを前提として学生主体で進行してもらう。	2018年度以前の文化人類学演習IIa (AB85432)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 詳細後日周知
AB85E42	文化人類学演習II-b		2	1.0	2-4	秋AB	木5		場所の人類学の方法について概観する。南アジアその他の民族誌を取り上げながら、人々と場所の関係をどう記述できるのかを問う。生活世界を現象学的な方法で記述する方法を概観した後、異なるスケールが複合した社会的な関係における現代の場所の問題を考察する。	2018年度以前の文化人類学演習IIb (AB85442)の単位取得者は履修できない。 西暦偶数年度開講。 詳細後日周知
AB85F11	文化人類学調査法-A		1	1.0	2-4				人類学の主要な研究テーマと調査方法の関係について文献を読みつつ調査を行い、様々な調査方法の応用可能性と限界について考察する。事前に文化人類学の専門基礎科目を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
AB85F21	文化人類学調査法-B		1	1.0	2-4	春AB	水6		人類学の主要な研究テーマと調査方法の関係について文献を読みつつ調査を行い、様々な調査方法の応用可能性と限界について考察する。事前に文化人類学の専門基礎科目を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。 詳細はmanabaで通知
AB85G15	文化人類学実習-A		5	2.0	2-4				フィールドワークの研究計画書を準備した後、5日~6日程度のフィールドワークを集中的に行う。その後、民族誌を執筆して発表する。春学期に文化人類学調査法を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。 合野外調査
AB85G25	文化人類学実習-B		5	2.0	2-4	秋ABC 秋学期	水6 集中		フィールドワークの研究計画書を準備した後、5日~6日程度のフィールドワークを集中的に行う。その後、民族誌を執筆して発表する。春学期に文化人類学調査法を履修しておくこと。	人文学類の学生に限る 西暦偶数年度開講。 合野外調査 詳細はmanabaで通知
AB86K12	民俗学・文化人類学研究-a		2	2.0	4	春ABC	応談	徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃		その他の実施形態

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB86K22	民俗学・文化人類学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	応談		徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃		その他の実施形態
AB86K38	卒業論文(民俗学・文化人類学)	8	6.0	4	通年	随時		徳丸 亜木, 中野 泰, 武井 基晃		

言語学(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB90A11	言語学概論-a	1	1.0	1	春AB	火1		池田 潤, 臼山 利信, 佐々木 勲人, ジャクタ プルノダニエル, フィリップ, 住大 恭康	世界の多様な言語を概観した上で、言語とは何かについてともに考える。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB90A21	言語学概論-b	1	1.0	1	秋AB	火1		池田 潤	言語の音韻、語形、構文、意味を分析するための基礎知識を学び、それらを未知の言語データに適用して初歩的な言語分析を体験する。	オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB90A31	音声学概論	1	1.0	1	春AB	木4		黄 賢暲	This course provides an introduction to the study of human speech sounds. Various aspects of speech production and perception will be discussed, involving articulatory apparatus, phonetic transcription, and basic acoustics of speech.	英語で授業。 授業形態: オンライン(同時双方向型)ないしオンライン(オンデマンド型)
AB90A51	音声学概論-b	1	1.0	1	秋AB	木4		黄 賢暲	This course focuses on the acoustic nature of speech, with special attention to the source-filter theory and the relation between airflow and turbulence.	英語で授業。 授業形態: オンライン(同時双方向型)ないしオンライン(オンデマンド型)
AB90A61	音声学概論-c	1	1.0	2-4	秋C	集中		黄 賢暲	Beyond segments, this course covers suprasegmentals of speech sounds and their acoustic correlates. Perceptual aspects of prosody will be also addressed.	英語で授業。 授業形態: オンライン(同時双方向型)ないしオンライン(オンデマンド型)
AB90B11	応用言語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	火6		磐崎 弘真, 卯城 祐司, 平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子	応用言語学全般にわたり概説する。	オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)
AB90B21	応用言語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火6		磐崎 弘真, 卯城 祐司, 平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子	応用言語学全般にわたり概説する。	★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)
AB90B31	応用言語学概論-c	1	1.0	1・2	春C	火5,6		磐崎 弘真, 卯城 祐司, 平井 明代, 高木 智世, 小野 雄一, 田川 拓海, 土方 裕子	応用言語学全般にわたり概説する。	2018年度以前入学者の人文類生を対象とする。 オンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)
AB90C11	日本語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	木6		橋本 修	日本語の、主として社会的な側面について解説する。日本語に関する社会調査の例も方法についても一部取り扱う。	G科目、オンライン(オンデマンド型)
AB90C21	日本語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	木6		矢澤 真人, 菅野 倫匡	現代日本語を題材に、語彙論・文法論に関わる基本的な知識を身につけるとともに、日本語の観察の仕方や分析の仕方を習得する。	G科目、オンライン(オンデマンド型)
AB90E11	中国語学概論	1	1.0	1・2	春AB	木5		佐々木 勲人	中国語の基礎知識を身につけるとともに、中国語学の研究方法について学ぶ。	オンライン(同時双方向型) 感染状況によっては対面形式に変更する可能性があります。
AB90F11	英語学概論-a	1	1.0	1・2	春AB	火5		和田 尚明	ことばの一定の形式(音調・強勢も含む)に対して意味がどのような規則性で対応するかという問題について、文法化などの通時的変化も考慮しながら検討する。特に、高校までに習った英文法の知識をもとに扱える現象を中心に概観し、英語の意味理解を深めるとともに、意味研究の面白さを伝える。	履修制限を設けることがある。 オンライン(オンデマンド型)
AB90F21	英語学概論-b	1	1.0	1・2	秋AB	火5		加賀 信広	英語の統語的特性および形態的特性を、日本語や古い英語と対比させながら概観し、形式が語順などの統語面や形態などの語彙面にどのように反映されているかについて考える。また、英語の方言や多様性、他言語との接触についても検討し、国際共通語としての姿を理解する。	履修制限を設けることがある。★2018年度以前入学者の人文・文化学群コアカリキュラム(人文学類生は学群コアカリキュラムとしては履修できない) 対面 状況によってはオンライン(オンデマンド型)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB90G11	仏語学概論	1	1.0	1	秋AB	金1		ジャクタ ブルノ ダニエル フィ リップ	フランス語の特徴をふまえながら、フランス語学について概説する。	オンライン(同時双方向型)
AB90H11	独語学概論	1	1.0	1・2	春AB	金5		大矢 俊明	ドイツ語・ゲルマン語に関心のある者を対象にドイツ語を学び、研究するための基本的知識・概念について講義し、ドイツ語の特徴を明らかにする。	CEGLOG開設の「ドイツ語基礎」を履修していなくても受講できる。オンライン(オンデマンド型)
AB90J11	露語学概論	1	1.0	1・2	秋AB	木5		臼山 利信	世界の中でのロシア語の位置づけやロシア語を巡る基礎知識を紹介した上で、ロシア語の音声と語形成などを中心に概観する。さらに、ロシア語の短いやさしいテキストを用いて、文の形式・機能・用法に着目しながら、研究対象としてのロシア語の特徴を整理し、研究方法についての理解を深める。	オンライン(同時双方向型)

言語学(一般言語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB91A11	実験音声学	1	1.0	2・3	春AB	木5		黄 賢暲	This course provides training in designing and running a basic phonetic experiment, analyzing quantitative speech data and interpreting the results.	英語で授業。 授業形態: オンライン(同時双方向型)ないしオンライン(オンデマンド型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91A21	実験言語学	1	1.0	2・3	秋AB	木5		黄 賢暲	This course introduces a range of experimental research across different domains in linguistics, and provide the basics of experimental approaches. Students are expected to be able to make empirical observations for theoretical generalizations.	英語で授業。 授業形態: オンライン(同時双方向型)ないしオンライン(オンデマンド型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91A31	記述言語学	1	1.0	2・3					未知の言語のデータを収集し、その言語体系を発見するための方法を身につける。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB91A51	歴史言語学	1	1.0	2・3	春AB	金3		池田 潤	さまざまな言語を例に、音法則と失われた言語を復元する方法を学ぶ。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91A71	実験言語・音声学	1	1.0	2・3	秋C	集中		黄 賢暲	This course provides advanced analytic skills including Praat scripting and statistical analyses. Each student will carry out a research project in experimental phonetics/linguistics.	英語で授業。 授業形態: オンライン(同時双方向型)ないしオンライン(オンデマンド型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91A81	言語政策論-a	1	1.0	2・3	春AB	金5		臼山 利信	多言語社会をキーワードとして、民族、母語、言語、文化、政策の観点から言語政策とは何かという問題について検討する。	オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91A91	言語政策論-b	1	1.0	2・3	秋AB	金5		臼山 利信	日本の地方自治体の多言語対応(言語サービス)の現状と課題について、言語政策の観点から検討し、課題解決の糸口を探索する。	オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91B12	一般言語学演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	金5		池田 潤	Language Files (Ohio State University Press, 2016) を学生主体の演習形式で講読する。これを通して言語学の諸問題を探索し、研究テーマ発掘の一助とする。	2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91B22	一般言語学演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	金5		池田 潤	受講生の自由研究について学生主体の演習形式で論じ合う。これにより、問題点を見いだす能力、先行研究を整理・批判する能力、新たな知見を生み出し、それを説得的に伝達する能力を身に付ける。	2022年度より2年おき開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91B32	一般言語学演習II-a	2	1.0	2-4					Language Files (Ohio State University Press, 2016) を学生主体の演習形式で講読する。これを通して言語学の諸問題を探索し、研究テーマ発掘の一助とする。	2020年度より2年おき開講。
AB91B42	一般言語学演習II-b	2	1.0	2-4					受講生の自由研究について学生主体の演習形式で論じ合う。これにより、問題点を見いだす能力、先行研究を整理・批判する能力、新たな知見を生み出し、それを説得的に伝達する能力を身に付ける。	2020年度より2年おき開講。 対面
AB91B52	一般言語学演習III-a	2	1.0	2-4					Language Files (Ohio State University Press, 2016) を学生主体の演習形式で講読する。これを通して言語学の諸問題を探索し、研究テーマ発掘の一助とする。	2021年度より2年おき開講。
AB91B62	一般言語学演習III-b	2	1.0	2-4					受講生の自由研究について学生主体の演習形式で論じ合う。これにより、問題点を見いだす能力、先行研究を整理・批判する能力、新たな知見を生み出し、それを説得的に伝達する能力を身に付ける。	2021年度より2年おき開講。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB91C12	一般言語学特殊演習I-a	2	1.0	2-4	春AB	木3		池田 潤	聖書ヘブル語の派生語幹、数詞を学ぶ。	ヘブル語初級-a, bを履修した者に限る。西暦偶数年度開講。オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91C22	一般言語学特殊演習I-b	2	1.0	2-4	秋AB	木3		池田 潤	言語的特徴に留意しつつヘブル語聖書からの抜粋を講読する。	一般言語学特殊演習I-aを履修した者に限る。西暦偶数年度開講。オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB91E72	ヘブル語初級-a	2	1.0	1-4					ヘブル文字を学んだ上で、聖書ヘブル語の基礎を学ぶ。	西暦奇数年度開講。
AB91E82	ヘブル語初級-b	2	1.0	1-4					引き続き聖書ヘブル語の文法を学ぶ。	西暦奇数年度開講。
AB91K12	一般言語学研究-a	2	2.0	4	春学期	随時		池田 潤, 黄 賢暉, 佐々木 勲人, 大矢俊明, 住大 恭康, 臼山 利信	卒業研究の構想と資料の収集・分析に関する指導を行う。	
AB91K22	一般言語学研究-b	2	2.0	4	秋学期	随時		池田 潤, 黄 賢暉, 佐々木 勲人, 大矢俊明, 住大 恭康, 臼山 利信	卒業論文の書き方に関する指導を行う。	
AB91K38	卒業論文(一般言語学)	8	6.0	4	通年	随時		池田 潤, 黄 賢暉, 佐々木 勲人, 大矢俊明, 住大 恭康, 臼山 利信	一般言語学に関する卒業論文。	
AB94A12	中国語文法演習-a	2	1.0	2-3					中国語文法の研究法について、演習形式でその基礎を学ぶ。	西暦奇数年度開講。2022年度開講せず。
AB94A22	中国語文法演習-b	2	1.0	2-3					中国語文法の研究法について演習形式で学ぶ。	西暦奇数年度開講。2022年度開講せず。
AB94A32	中国語演習-a	2	1.0	2-3	春AB	木3		佐々木 勲人	聴読読写の4技能を高めるための総合的な語学トレーニングをおこなう。	2022年度より2年おき開講。オンライン(同時双方向型)感染状況によっては対面形式に変更する可能性があります。
AB94A42	中国語演習-b	2	1.0	2-3	秋AB	木3		佐々木 勲人	聴読読写の4技能を更に高めるための総合的な語学トレーニングをおこなう。	2022年度より2年おき開講。オンライン(同時双方向型)感染状況によっては対面形式に変更する可能性があります。
AB94B12	中国語学演習I-a	2	1.0	3-4					中国語文法に関する文献を読み進めながら、中国語の特徴について考える。	西暦奇数年度開講。2022年度開講せず。
AB94B22	中国語学演習I-b	2	1.0	3-4					中国語文法に関する文献を読み進めながら、中国語の特徴について考える。	西暦奇数年度開講。2022年度開講せず。
AB94B32	中国語学演習II-a	2	1.0	3-4	春AB	火2		佐々木 勲人	中国東南方言の基礎的構文を学ぶことを通して、方言文法研究の手法を身につける。	西暦偶数年度開講。オンライン(同時双方向型)感染状況によっては対面形式に変更する可能性があります。
AB94B42	中国語学演習II-b	2	1.0	3-4	秋AB	火2		佐々木 勲人	中国東南方言の基礎的構文の分析を通して、方言文法研究の新たなテーマを発掘する能力を身につける。	西暦偶数年度開講。オンライン(同時双方向型)感染状況によっては対面形式に変更する可能性があります。
AB96A11	仏語音声学・音韻論-a	1	1.0	1-2					フランス語の発音の正確な認識を目的として、その基本的知識の講義・実習を行なう。	2022年度開講せず。
AB96A21	仏語音声学・音韻論-b	1	1.0	1-2					仏語音声学・音韻論-aにつづき、フランス語の発音の正確な認識を目的として、その基本的知識の講義・実習を行なう。	2022年度開講せず。
AB96A41	仏語文法論-a	1	1.0	3					フランス語の文法的現象をどのように記述し説明するかを考える。	2022年度開講せず。
AB96A51	仏語文法論-b	1	1.0	3					仏語文法論-aにつづき、フランス語の文法的現象をどのように記述し説明するかを考える。	2022年度開講せず。
AB96C12	仏語学演習I-a	2	1.0	3-4					フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦偶数年度開講。2022年度開講せず。
AB96C22	仏語学演習I-b	2	1.0	3-4					仏語学演習I-aにつづき、フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦偶数年度開講。2022年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB96C32	仏語学演習I-c	2	1.0	3・4					仏語学演習I-a、仏語学演習I-bと関連させ、フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦偶数年度開講。 2022年度開講せず。 2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96C42	仏語学演習II-a	2	1.0	3・4					フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦奇数年度開講。
AB96C52	仏語学演習II-b	2	1.0	3・4					仏語学演習II-aにつづき、フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦奇数年度開講。
AB96C62	仏語学演習II-c	2	1.0	3・4					仏語学演習II-a、仏語学演習II-bと関連させ、フランス語学の特定の研究課題について、課題の決定の仕方、研究方法の検討の仕方、データ収集と処理に関する技術、作業仮説の立て方と検証方法について、手順を踏みながら学ぶ。	西暦奇数年度開講。 2018年以前入学の学生のみを対象とする。
AB96F11	仏語文法講読-a	1	1.0	2					フランス語学習歴2年目の学生をおもな対象として、中級文法の知識や構文の読み解きかたを講義するとともに、比較的平易な文章を精読する。	2022年度開講せず。
AB96F21	仏語文法講読-b	1	1.0	2					仏語文法講読-aにつづき、フランス語学習歴2年目の学生をおもな対象として、中級文法の知識や構文の読み解きかたを講義するとともに、比較的平易な文章を精読する。	2022年度開講せず。
AB96F52	仏語演習-a	2	1.0	2・3	春AB	水2		増尾 弘美	現代フランス文学作品を読み、文体と語法について解説する。	対面
AB96F62	仏語演習-b	2	1.0	2・3	秋AB	水2		増尾 弘美	仏語演習-aにつづき、現代フランス文学作品を読み、文体と語法について解説する。	対面
AB97A11	ドイツ語文法論・統語論-a	1	1.0	2・3					専門文献を読みながら、ドイツ語の文構造に関する基本的な知識を修得する。特に副文、副詞節の振る舞いに着目する。	西暦奇数年度開講。
AB97A21	ドイツ語文法論・統語論-b	1	1.0	2・3					専門文献を読みながら、ドイツ語における文構造のさまざまな側面を考察し、あわせて他言語との比較を行う。	西暦奇数年度開講。
AB97A51	ドイツ語文法論・統語論-c	1	1.0	2・3					専門文献を読みながら、ドイツ語と他言語の文構造を比較する。	2018年度以前入学者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。
AB97B11	ドイツ語学講義I-a	1	1.0	2・3					ドイツ語学におけるいくつかのトピック(時制・法など)を講義し、日本語や英語との比較対照を行う。	西暦奇数年度開講。
AB97B21	ドイツ語学講義I-b	1	1.0	2・3					ドイツ語学におけるいくつかのトピック(態・語順など)を講義し、日本語や英語との比較対照を行う。	西暦奇数年度開講。
AB97B31	ドイツ語学講義II-a	1	1.0	2・3	春AB	金3		大矢 俊明	ドイツ語学に含まれる基本的研究分野や専門用語などドイツ語学に関する基本的事項を、ドイツ語文献を利用しながら講義する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に 変更する可能性があります。
AB97B41	ドイツ語学講義II-b	1	1.0	2・3	秋AB	金3		大矢 俊明	ドイツ語学の基本的概念の習得を継続して行い、併せてドイツ語学関係文献の精読能力の向上も目指す。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に 変更する可能性があります。
AB97B71	ドイツ語学講義I-c	1	1.0	2・3					ドイツ語学におけるいくつかのトピックを講義し、日本語や英語との比較対照を行う。	2018年度以前入学者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。
AB97B81	ドイツ語学講義II-c	1	1.0	2・3	秋C	金3,4		大矢 俊明	ドイツ語学研究におけるトピックについて研究方法なども含めて講義し、あわせて研究テーマの設定についても指導する。	2018年度以前入学者のみ受講可。 西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に 変更する可能性があります。
AB97F12	ドイツ語演習I-a	2	1.0	1-3	春AB	火3		住大 恭康	中級程度の文法知識の復習をしながら、読解能力を高める。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に 変更する可能性があります。
AB97F22	ドイツ語演習I-b	2	1.0	1-3	秋AB	火3		住大 恭康	中級程度の文法知識をもとに読解能力を高める。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に 変更する可能性があります。
AB97F32	ドイツ語演習II-a	2	1.0	2・3					中級程度の文法知識の復習をしながら、作文能力を高める。	西暦奇数年度開講。
AB97F42	ドイツ語演習II-b	2	1.0	2・3					中級程度の文法知識をもとに作文能力を高める。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB97F52	ドイツ語演習I-c	2	1.0	1-3	秋C	火3,4		住大 恭康	様々なタイプの文章に触れて、読解能力を高める。	2018年度以前入学者のみ受講可。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に 変更する可能性があります。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB97F62	ドイツ語演習II-c	2	1.0	2・3					様々なテーマについて作文することにより、発信能力を高める。	2018年度以前入学者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB97G12	ドイツ語学演習I-a	2	1.0	2・3					基本文献を読みながら、ドイツ語学における重要な概念を修得する。	西暦奇数年度開講。
AB97G22	ドイツ語学演習I-b	2	1.0	2・3					基本文献を読みながら、ドイツ語学における重要な概念ならびに方法論を修得する。	西暦奇数年度開講。
AB97G32	ドイツ語学演習II-a	2	1.0	3・4	春AB	月3		住大 恭康	ドイツ語の文法と意味に関する論文を講読しながら、既存の考え方を批判的に検討する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB97G42	ドイツ語学演習II-b	2	1.0	3・4	秋AB	月3		住大 恭康	ドイツ語における文法と意味の関係を扱った論文を講読しながら、既存の研究を批判的に検討する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB97G52	ドイツ語学演習I-c	2	1.0	2・3					基本文献を読みながら、ドイツ語学における重要な概念、方法論、あわせて議論の仕方を修得する。	2018年度以前入学者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。
AB97G62	ドイツ語学演習II-c	2	1.0	3・4	秋C	月3,4		住大 恭康	論文を講読しながら、ドイツ語の「未来時制」について考察する。	2018年度以前入学者のみ受講可。 西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98A11	露語文法論-a	1	1.0	2	春BC 夏季休業中	集中			ロシア語文法に関する主要事項の全体的把握を目指す。ここでは、単数形と複数形、名詞・形容詞変化と動詞変化等について丁寧に解説する。	オンライン(同時双方向型)
AB98A21	露語文法論-b	1	1.0	2	夏季休業中 秋AB	集中			ロシア語文法に関する主要事項の全体的把握を目指す。ここでは、動詞の体と時制、無人称文と不定人称文等について丁寧に解説する。	オンライン(同時双方向型)
AB98A31	露語音声学・音韻論-a	1	1.0	2・3					ロシア語音声資料を適宜用いながら、概括的な内容を含むロシア語の関連文献を丁寧に読み、ロシア語の音声に関する研究のあり方を整理・検討する。	2020年度より4年おき開講。
AB98A41	露語音声学・音韻論-b	1	1.0	2・3					ロシア語音声資料を適宜用いながら、概括的な内容を含むロシア語の関連文献を丁寧に読み、ロシア語の音声に関する研究のあり方を整理・検討する。	2020年度より4年おき開講。
AB98A61	露語音声学・音韻論-c	1	1.0	2・3						2020年度より4年おき開講。 2022年度開講せず。
AB98A71	露語学特講-a	1	1.0	2-4					ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2022年度開講せず。
AB98A81	露語学特講-b	1	1.0	2-4					ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2022年度開講せず。
AB98A91	露語学特講-c	1	1.0	2-4					ロシア語学に関するトピックを取り上げ、ロシア語の構造と機能の特性などについて検討する。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2022年度開講せず。
AB98B11	ロシア言語文化特講-a	1	1.0	2-4	春AB	火4		加藤 百合	ロシアの言語文化を知るために、ロシア語のテキストを講読して授業を進める。深く正確な読解に必要な文法の基礎力を訓練する。内容に関わる、歴史的文化的な知識については十分説明を加え、背景や国民性についてある程度まとまった理解を涵養する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98B21	ロシア言語文化特講-b	1	1.0	2-4	秋AB	火4		加藤 百合	ロシアの言語文化を知るために、ロシア語のテキストを講読して授業を進める。深く正確な読解に必要な文法の基礎力を訓練する。内容に関わる、歴史的文化的な知識については十分説明を加え、背景や国民性についてある程度まとまった理解を涵養する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98B31	ロシア言語文化特講-c	1	1.0	2-4					ロシアの言語文化を知るために、ロシア語のテキストを講読して授業を進める。深く正確な読解に必要な文法の基礎力を訓練する。内容に関わる、歴史的文化的な知識については十分説明を加え、背景や国民性についてある程度まとまった理解を涵養する。	2022年度開講せず。 オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98C01	スラヴの言語と文化-b	1	1.0	3・4					スラヴ諸語の中から1言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2022年度開講せず。
AB98C11	スラヴの言語と文化-c	1	1.0	3・4					スラヴ諸語の中から1言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2022年度開講せず。
AB98E01	ロシアの言語と文化-a	1	1.0	2-4	秋B	集中		梶山 祐治	中央ユーラシアという地政学的枠組みを念頭におきながら、言語を中心に、文学、文化、歴史、社会という5つの視点から多様な「ロシア世界」の諸相を学び、考察する。今年度は、ロシアの映像文化を取り上げる。映画作品を通じてロシアの言語・文化理解を深める。	詳細後日周知。オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB98E11	ロシアの言語と文化-b	1	1.0	2-4	秋C	集中		梶山 祐治	言語を中心に、文学、文化、歴史、社会という5つの視点から多様な「ロシア世界」の諸相を学び、考察する。中央ユーラシアという地政学的枠組みを念頭におきながら、言語を中心に、文学、文化、歴史、社会という5つの視点から多様な「ロシア世界」の諸相を概説し考察する。今年度は、ロシアの映像文化を取り上げる。映画作品を通じてロシアの言語・文化の理解を深める。「ロシアの言語と文化-a」とは内容が異なる。	詳細後日周知。オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98E21	ロシアの言語と文化-c	1	1.0	2-4	夏季休業中 春季休業中	集中		梶山 祐治	中央ユーラシアという地政学的枠組みを念頭におきながら、言語を中心に、文学、文化、歴史、社会という5つの視点から多様な「ロシア世界」の諸相を学び、考察する。今年度は、ロシアの映像文化を取り上げる。映画作品を通じてロシアの言語・文化の理解を深める。「ロシアの言語と文化-a」「ロシアの言語と文化-b」とは内容が異なる。	詳細後日周知。オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98E31	スラヴの言語と文化-a	1	1.0	3-4					スラヴ諸語の中から1言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2022年度開講せず。
AB98E41	中央アジアの言語と文化-a	1	1.0	3-4	春AB	金6		宗野 ふもと	中央アジアの諸言語から一つの言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98E51	中央アジアの言語と文化-b	1	1.0	3-4	春C秋A	金6		宗野 ふもと	中央アジアの諸言語から一つの言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98E61	中央アジアの言語と文化-c	1	1.0	3-4	秋BC	金6		宗野 ふもと	中央アジアの諸言語から一つの言語を取り上げ、その言語構造の基礎と文化を学ぶ。	オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98E72	ロシア語演習III-a	2	1.0	2-4					小説や詩などを言語材料として取り上げ、文学的表現手法について、ロシア語学的な視点からロシア語の構造と機能の相関性についての理解を深める。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2022年度開講せず。
AB98E82	ロシア語演習III-b	2	1.0	2-4					小説や詩などを言語材料として取り上げ、文学的表現手法について、ロシア語学的な視点からロシア語の構造と機能の相関性についての理解を深める。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2022年度開講せず。
AB98E92	ロシア語演習III-c	2	1.0	2-4					小説や詩などを言語材料として取り上げ、文学的表現手法について、ロシア語学的な視点からロシア語の構造と機能の相関性についての理解を深める。	原則として、平成30年度入学者以前の学生を対象とする。 2022年度開講せず。
AB98F42	ロシア語演習I-a	2	1.0	1-2	春AB	木4		ポイツォフ イヴァン アルセンチエヴィチ, 臼山 利信	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。	ロシア語で授業。 オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98F52	ロシア語演習I-b	2	1.0	1-2	春C秋A	木4		ポイツォフ イヴァン アルセンチエヴィチ, 臼山 利信	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。ロシア語演習I-aとは異なるテキストを使用する。	ロシア語で授業。 オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98F62	ロシア語演習I-c	2	1.0	1-2	秋BC	木4		ポイツォフ イヴァン アルセンチエヴィチ, 臼山 利信	平易なロシア語のテキストを読み、ロシア語で内容全体について要約したり、内容の一部について細かく説明したりする訓練を行う。ロシア語演習I-aとロシア語演習I-bの内容とは異なるテキストを使用する。	ロシア語で授業。 オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98F72	露語学演習I-a	2	1.0	2-4					ロシア語の様々な諸相に、言語形式と意味機能という観点からアプローチする。この演習では主に動詞の体(アスペクト)の基本を学ぶ。	原則として、一般言語学コースと旧露語学コースの3年次以上の学生を対象とする。 西暦奇数年度開講。
AB98F82	露語学演習I-b	2	1.0	2-4					ロシア語の様々な諸相に、言語形式と意味機能という観点からアプローチする。この演習では主に動詞の体(アスペクト)の基本を学ぶ。	原則として、一般言語学コースと旧露語学コースの3年次以上の学生を対象とする。 西暦奇数年度開講。
AB98F92	露語学演習I-c	2	1.0	2-4					ロシア語の様々な諸相に、言語形式と意味機能という観点からアプローチする。この演習では主に動詞の体(アスペクト)の基本を学ぶ。	原則として、一般言語学コースと旧露語学コースの3年次以上の学生を対象とする。 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。
AB98G12	露語学演習II-a	2	1.0	2-4	夏季休業中	集中		臼山 利信	日本人学習者が陥りやすい、ロシア語の文法的誤り等について言語学観点から検討する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98G22	露語学演習II-b	2	1.0	2-4	夏季休業中	集中		臼山 利信	日本人学習者が陥りやすい、ロシア語の文法的誤り等について言語学観点から検討する。	西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型)状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98G32	露語学演習II-c	2	1.0	2-4					日本人学習者が陥りやすい、ロシア語の文法的誤りについて言語学観点から検討する。	西暦偶数年度開講。 2022年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB98G42	露語会話作文演習-a	2	1.0	3・4	春AB	木3		ポイツォフ イヴァン アルセン チエヴィチ, 臼山利信	基本文法と基本語彙の復習をしながら、さらなるコミュニケーション能力の向上を目指す。ここでは日常生活に役立つ表現を学ぶ。	ロシア語で授業。オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98G52	露語会話作文演習-b	2	1.0	3・4	春C秋A	木3		ポイツォフ イヴァン アルセン チエヴィチ, 臼山利信	基本文法と基本語彙の復習をしながら、さらなるコミュニケーション能力の向上を目指す。ここでは討論に役立つ表現を学ぶ。	ロシア語で授業。オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98G62	露語会話作文演習-c	2	1.0	3・4	秋BC	木3		ポイツォフ イヴァン アルセン チエヴィチ, 臼山利信	基本文法と基本語彙の復習をしながら、さらなるコミュニケーション能力の向上を目指す。ここでは討論と口頭発表に役立つ表現を学ぶ。	ロシア語で授業。オンライン(同時双方向型) 状況によっては対面に変更する可能性があります。
AB98G72	ロシア語演習II-a	2	1.0	1・2					ロシア文学講読。	西暦奇数年度開講。
AB98G82	ロシア語演習II-b	2	1.0	1・2					ロシア文学史講読。	西暦奇数年度開講。
AB98G92	ロシア語演習II-c	2	1.0	1・2					主にロシア文学史講読。	西暦奇数年度開講。

言語学(応用言語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB92A11	応用言語学講義I-a	1	1.0	1・2					応用言語学の中でも第二言語習得論に焦点をあて、学習者言語・中間言語の特徴や、インプットやアウトプットに関する主要な理論を概観する。	西暦奇数年度開講。対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92A21	応用言語学講義I-b	1	1.0	1・2					第二言語習得論の中でも、言語習得に影響する個人差や年齢要因、母語からの転移について概観する。	西暦奇数年度開講。対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92A22	応用言語学講義I-c	2	1.0	1・2					第二言語習得論研究で用いられる研究手法を精査し、どのテーマに対してどの手法が適切かを理解する。また第二言語習得論と英語教授法との関連を検討する。	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。西暦奇数年度開講。対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92A31	応用言語学講義II-a	1	1.0	1・2	春AB	火1		磐崎 弘貞	This course discusses various topics in vocabulary research. In so doing, each student makes a summary presentation in English on a given topic.	The classroom language is English. オンライン(同時双方向型)
AB92A41	応用言語学講義II-b	1	1.0	1・2	秋AB	火1		磐崎 弘貞	This course discusses basic concepts in corpus linguistics and familiarizes students with corpus tools. In so doing, each student makes a summary presentation in English on given topics.	オンライン(同時双方向型)
AB92A42	応用言語学講義II-c	2	1.0	1・2	春C	火1,2		磐崎 弘貞	This course familiarizes students with corpus tools and corpus analysis as a hands-on training. In so doing, each student makes a summary presentation in English on given topics.	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。オンライン(同時双方向型) The classroom language is English.
AB92A51	応用言語学講義III-a	1	1.0	1・2	春AB	水3		高木 智世	社会言語学の視点やこれまでの重要な発見を、身近な言語事象を交えながら概観する。III-aでは、言語の多様な姿について理解を深めることを焦点とする。	対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92A61	応用言語学講義III-b	1	1.0	1・2	秋AB	水3		高木 智世	社会言語学の視点やこれまでの重要な発見を、身近な言語事象を交えながら概観する。III-bでは、言語使用に関わる原理についての諸理論と言語使用を分析する手法を学ぶ。	応用言語学講義III-bの履修は、応用言語学は、言語使用に関わる原理についての諸理論と言語使用を分析する手法を学ぶ。対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92A62	応用言語学講義III-c	2	1.0	1・2	春C	水3,4		高木 智世	社会言語学の視点やこれまでの重要な発見を、身近な言語事象を交えながら概観する。III-cでは、具体的な言語使用とさまざまな社会的要素の関連について学ぶ。	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92A71	応用言語学講義IV-a	1	1.0	1・2	春AB	金3		田川 拓海	現代日本語の文章を中心に、文章の振る舞い・特徴を言語学的に究明する基盤となる「文体」「話し言葉/書き言葉」「結束性」についての基本的な概念と言語現象の整理を行うとともに、言語研究における理論・モデルについての基本的な知識を身に付ける。	西暦偶数年度開講。対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92A81	応用言語学講義IV-b	1	1.0	1・2	秋AB	金3		田川 拓海	現代日本語の文章を中心に、文章の振る舞い・特徴を言語学的に究明する手がかりとなる「文体」「話し言葉/書き言葉」「結束性」の観点から実際の言語現象の分析・検討を行う。	西暦偶数年度開講。対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92A82	応用言語学講義IV-c	2	1.0	1・2	秋C	金3,4		田川 拓海	現代日本語の文章を対象に、文章研究の具体的なトピックとして「文体遷移」「役割語」「引用」等を取り上げ、言語学の方法論を用いた分析・検討を行う。	2018年度以前入学の人文学類生を対象とする。西暦偶数年度開講。対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB92B12	外書講読I-a	2	1.0	1-3					英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関するテキストを講読する。テキストに書かれた英語の特徴に注意を払いつつ、応用言語学分野の研究法を理解できるようにする。	西暦奇数年度開講。 対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92B22	外書講読I-b	2	1.0	1-3					英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関するテキストを講読する。テキストに書かれた英語の特徴に注意を払いつつ、応用言語学の研究手法について理解を深める。	西暦奇数年度開講。 対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92B23	外書講読I-c	3	1.0	1-3					英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関する文献を講読する。コーパスの構築と分析に関する研究手法について理解を深めるとともに演習を通して分析スキルを身につける。	2018年度以前入学の人文系類生を対象とするが、2019年度入学者の受講も可。 西暦奇数年度開講。 対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92B32	外書講読II-a	2	1.0	1-3	春AB	金5		小野 雄一	英語で書かれた応用言語学に関する基礎文献の講読を行う。文法、語法などに注意を払いつつ、応用言語学に関する基礎知識の習得に努める。本授業では、言語使用の基礎となる言語理論に関する論文を講読する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92B42	外書講読II-b	2	1.0	1-3	秋AB	金5		小野 雄一	英語で書かれた応用言語学に関する基礎文献の講読を行う。文法、語法などに注意を払いつつ、応用言語学に関する基礎知識の習得に努める。本授業では、第二言語習得理論の基礎を扱っている論文を講読する。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92B43	外書講読II-c	3	1.0	1-3	春C	金5,6		小野 雄一	英語で書かれた応用言語学研究の方法論に関する文献を講読する。応用言語学における量的研究手法について理解を深めるとともに演習を通して分析スキルを身につける。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92C12	応用言語学演習I-a	2	1.0	2-3	春AB	金4		土方 裕子	各自の文献研究とミニリサーチを通じて、英語教育学の中でも特にリーディングの分野で用いられる研究手法を修得する。	西暦偶数年度開講。 対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92C22	応用言語学演習I-b	2	1.0	2-3	秋AB	金4		土方 裕子	各自の文献研究とミニリサーチを通じて、文処理研究の分野で用いられる研究手法を修得する。	西暦偶数年度開講。 対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92C23	応用言語学演習I-c	3	1.0	2-3	春C	金3,4		土方 裕子	英語教育学の中でも特にリーディングや文処理の分野で卒業論文が執筆できるように、各自の興味に合わせたテーマを選択した上でミニリサーチを実施する。	2018年度以前入学の人文系類生を対象とする。 西暦偶数年度開講。 対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92C32	応用言語学演習II-a	2	1.0	2-3	春AB	火4		卯城 祐司	教室における外国語としての英語の指導および習得について、リーディングおよび文脈における語彙理解を中心に理論と実践の両面から考察する。	対面 状況に応じてオンライン(同時双方向型)になる場合もある。
AB92C42	応用言語学演習II-b	2	1.0	2-3	秋AB	火4		卯城 祐司	教室における外国語としての英語の指導および習得について、リーディングおよび文脈における語彙理解の研究を中心に、各自の問題意識を基に、文献を中心としたリサーチを行う。	対面 状況に応じてオンライン(同時双方向型)になる場合もある。
AB92C43	応用言語学演習II-c	3	1.0	2-3	春C	火3,4		卯城 祐司	教室における外国語としての英語の指導および習得について、リーディングおよび文脈における語彙理解を中心に理論と実践の両面から考察する。	2018年度以前入学の人文系類生を対象とする。 対面 状況に応じてオンライン(同時双方向型)になる場合もある。
AB92C52	応用言語学演習III-a	2	1.0	2-3	春AB	火5		高木 智世	会話分析の基本的分析概念を理解し、日常的相互行為を精緻に観察・分析する能力を養う。	西暦偶数年度開講。 対面
AB92C62	応用言語学演習III-b	2	1.0	2-3	秋AB	火5		高木 智世	応用言語学演習III-aで学んだ基礎知識を用いて、実際の相互行為場面を分析し、会話分析的視点から一定の知見を引き出すことを試みる。	応用言語学演習III-aを履修済みであることを履修要件とする。 西暦偶数年度開講。 対面
AB92C63	応用言語学演習III-c	3	1.0	2-3	春C	集中		高木 智世	応用言語学演習III-aで学んだ基礎知識を用いて、実際の相互行為場面を分析し、言語を用いて構築される相互行為の秩序の厳密さと複雑さを理解する。	2018年度以前入学の人文系類生を対象とする。 応用言語学演習III-aを履修済みであることを履修要件とする。 西暦偶数年度開講。 対面
AB92C72	応用言語学演習IV-a	2	1.0	2-3					現代日本語の文章を研究する上で重要な言語現象および理論・モデルについて、文献を批判的に検討する作業を通して基本的な知識を身につける。	西暦奇数年度開講。 対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92C82	応用言語学演習IV-b	2	1.0	2-3					文献調査によって、現代日本語の文章研究において何が研究課題になるのかを考える。さらに演習を通して、それらの研究課題について自ら現象の記述と分析を行う能力を身につける。	西暦奇数年度開講。 対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92C83	応用言語学演習IV-c	3	1.0	2-3					受講者自身で文章研究に関する研究テーマを設定し演習発表を行うことによって、文献調査、データ収集、言語現象の記述と分析といった言語学の研究に必要な能力を身につける。	2018年度以前入学の人文系類生を対象とする。 西暦奇数年度開講。 対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92F11	応用言語学特講I-a	1	1.0	3-4	春AB	月3		平井 明代	第2言語習得についての教授法、評価について理解を深める。また、評価手法を学び、使えるようになることを目指す。	対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB92F21	応用言語学特講I-b	1	1.0	3・4	秋AB	月3		平井 明代	スピーキング技能などの言語パフォーマンス指導と評価に関する理論を学び、実践を行う。	対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92F22	応用言語学特講I-c	2	1.0	3・4	春C	月3, 集中		平井 明代	第2言語習得に関する教授法、評価について理解を深める。また、評価手法を学び、使えるようになることを目指す。	2018年度以前入学の人文系学生を対象とする。 対面 状況に応じてオンラインになる場合もある。
AB92F31	応用言語学特講II-a	1	1.0	3・4					人が人として相互行為に参加することができるというのはいかなることか。また、人は、相互行為においてどのように言語資源・身体資源を用いているのか。これらのテーマをめぐる関連領域の研究成果を概観し、相互行為の本質を考える。	西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB92F41	応用言語学特講II-b	1	1.0	3・4					人が人として相互行為に参加することができるというのはいかなることか。また、人は、相互行為においてどのように言語資源・身体資源を用いているのか。これらのテーマをめぐる関連領域の研究成果を概観し、相互行為の本質を考える。	応用言語学特講II-bの履修は、応用言語学特講II-aを履修済みであることを条件とする。 西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB92F42	応用言語学特講II-c	2	1.0	3・4					人が人として相互行為に参加することができるというのはいかなることか。また、人は、相互行為においてどのように言語資源・身体資源を用いているのか。これらのテーマをめぐる関連領域の研究成果を概観し、相互行為の本質を考える。	2018年度以前入学の人文系学生を対象とする。 西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB92K12	応用言語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		磐崎 弘真 卯城 祐司 平井 明代 高木 智世 小野 雄一 田川 拓海 土方 裕子	卒業論文に関する研究指導を行う。(日程は別途掲示する。)	オンライン(同時双方向型) 対面
AB92K22	応用言語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		磐崎 弘真 卯城 祐司 平井 明代 高木 智世 小野 雄一 田川 拓海 土方 裕子	卒業論文に関する研究指導を行う。(日程は別途掲示する。)	オンライン(同時双方向型) 対面
AB92K38	卒業論文(応用言語学)	8	6.0	4	通年	随時		磐崎 弘真 卯城 祐司 平井 明代 高木 智世 小野 雄一 田川 拓海 土方 裕子	応用言語学に関する卒業論文。	オンライン(同時双方向型) 対面

言語学(日本語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB93A11	日本語音韻論-a	1	1.0	2-4	春AB	月3		那須 昭夫	現代日本語の音声・音韻の特徴について、子音・母音・拍体系の各側面にわたり解説する。	オンライン(オンデマンド型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93A21	日本語音韻論-b	1	1.0	2-4	秋AB	月3		那須 昭夫	日本語音韻の史的変遷について解説する。古代語(上代・中古)および中世語を扱う。	オンライン(オンデマンド型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93A31	日本語音韻論-c	1	1.0	3・4	春C秋C	月3		那須 昭夫	現代語および中世語の音韻の特徴について解説する。中世語については資料講読も行う。	2018年度以前入学の人文系学生に限る オンライン(同時双方向型)
AB93A41	日本語文法論-a	1	1.0	2-4	春AB	金4		和氣 愛仁	現代日本語の文法に関する講義。文の基本構造、動詞の項構造とヴォイス、名詞句の機能と文法関係、テンス・アスペクト等のトピックを扱う。	オンライン(オンデマンド型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93A51	日本語文法論-b	1	1.0	2-4	秋AB	金4		和氣 愛仁	現代日本語の文法に関する講義。文の機能とモダリティ、主題ととりたて、文の階層的な構造、談話とテキスト等のトピックを扱う。	オンライン(オンデマンド型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93A61	日本語文法論-c	1	1.0	3・4	春C秋C	金4		和氣 愛仁	現代日本語の文法に関する講義。日本語文法論-aおよび日本語文法論-bで扱った話題についてさらに理解を深めながら、より発展的な課題について触れる。	2018年度以前入学の人文系学生に限る 対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93A71	日本語史-a	1	1.0	2-4	春AB	金2		大倉 浩	文献資料をひもときながら、日本語の語彙・文法の変遷を確認してゆく。いわゆる「古典文法」への再入門ともなる。動詞下一段活用の「蹴る」を取り上げる。	6科目。オンライン(オンデマンド型)。オンライン(同時双方向型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93A81	日本語史-b	1	1.0	2-4	秋AB	金2		大倉 浩	文献資料をひもときながら、日本語の語彙・文法の変遷を確認してゆく。古典文法で扱われる「係り結び」について文献調査をもとに考える。	6科目。オンライン(オンデマンド型)。オンライン(同時双方向型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB93A91	日本語史-c	1	1.0	3・4	春C秋C	金2		大倉 浩	文献資料をひもときながら、日本語の語彙・文法の変遷を確認してゆく。助動詞の変遷(時や推量に関わるもの)について、その起源をめぐる諸説を考察する。	2018年度以前入学の人文学類に限る G科目。対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93B01	日本語学講読I-a	1	1.0	2-4	春AB	火2		大倉 浩	江戸初期刊行の『狂言記』を読む。狂言という芸能の用語を通して中世・近世の日本語を考察する。芸能の歴史をたどった後、「末広がり」「釣り女」を版本コピーで読む。図書館資料見学も行う。	G科目。対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93B11	日本語学講読I-b	1	1.0	2-4	秋AB	火2		大倉 浩	江戸初期刊行の『狂言記』を読む。狂言という芸能の用語を通して中世・近世の日本語を考察する。「柿山伏」「すはじかみ」「どぶかつちり」「武悪」を版本コピーで読む。狂言の演技も体験する。	G科目。対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93B21	日本語学講読II-a	1	1.0	2-4	春AB	火3		那須 昭夫	アクセント辞典の記述を検討しながら、現代日本語(共通語)アクセントの規則性について理解を深める。	オンライン(同時双方向型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93B31	日本語学講読II-b	1	1.0	2-4	秋AB	火3		那須 昭夫	日本語のアクセントの史的変遷について、おもに古代語および中世語のアクセントの特徴を中心に学ぶ。	オンライン(同時双方向型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93B41	日本語学講読III-a	1	1.0	2-4	春AB	木3		矢澤 真人, 菅野 倫匡	受講者それぞれの具体的なテーマに即して、課題の設定から、研究計画、研究方法などを検討していく。IIIaでは、主として先行研究の検証と分析を軸として進める。	オンライン(オンデマンド型)。オンライン(同時双方向型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93B51	日本語学講読III-b	1	1.0	2-4	秋AB	木3		矢澤 真人, 菅野 倫匡	受講者それぞれの具体的なテーマに即して、具体的な調査を行い、その調査結果をもとに、分析法や一般化の妥当性について検討する。	オンライン(オンデマンド型)。オンライン(同時双方向型)。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93B61	日本語学講読IV-a	1	1.0	2-4	春AB	金3		橋本 修	卒業論文等に関わる、日本語学に関する先行研究を紹介検討する。一部、上代語・中古語等の資料紹介・検討を含む。	対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93B71	日本語学講読IV-b	1	1.0	2-4	秋AB	金3		橋本 修	日本語学の卒業論文等に関わる、やや専門的な先行研究の講読。受講者自身の研究を検討することを含む。	対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、教室他の状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93B81	日本語学講読V-a	1	1.0	2-4					現代日本語の格、ヴォイス、テンス、アスペクト等に関連する主要文献の講読。受講者の発表を中心に、適宜担当教員の講義を交えて進める。	西暦奇数年度開講。 対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93B91	日本語学講読V-b	1	1.0	2-4					現代日本語のモダリティ、とりたて、複文等に関連する主要文献の講読。受講者の発表を中心に、適宜担当教員の講義を交えて進める。	西暦奇数年度開講。 対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93C01	日本語学講読VI-a	1	1.0	2-4	春AB	木4		和氣 愛仁	現代日本語の格、ヴォイス、テンス、アスペクト等に関連する主要文献の講読。受講者の発表を中心に、適宜担当教員の講義を交えて進める。	西暦偶数年度開講。 対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93C11	日本語学講読VI-b	1	1.0	2-4	秋AB	木4		和氣 愛仁	現代日本語のモダリティ、とりたて、複文等に関連する主要文献の講読。受講者の発表を中心に、適宜担当教員の講義を交えて進める。	西暦偶数年度開講。 対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93E12	日本語学演習I-a	2	1.0	2	春AB	金5		和氣 愛仁	コーパス言語学の基礎に関する演習。正規表現を用いた文字列検索・置換、表計算ソフトによる用例集計・分析を扱う。	対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93E22	日本語学演習I-b	2	1.0	2	秋AB	金5		和氣 愛仁	コーパス言語学のやや応用的な演習。mecabによる形態素解析、中納言による品詞情報付きコーパス検索、スクリプト言語によるプログラミングを扱う。	対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93E32	日本語学演習I-c	2	1.0	3・4	春C秋C	金5		和氣 愛仁	言語学分野における人文情報学の応用に関する演習。コンピュータネットワークの基礎、各種データ記述言語によるデータ表現、データベース設計、ウェブサイト構築等について触れる。	2018年度以前入学の人文学類日本語学コース卒業予定者に限る 対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB93E42	日本語学演習II-a	2	1.0	3	春AB	月1		橋本 修	古今和歌集を中心とした、平安時代日本語に関する演習。資料の取り扱いの検討を含む。	オンライン(同時双方向型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93E52	日本語学演習II-b	2	1.0	3	秋AB	月1		橋本 修	古今和歌集を中心とした、平安時代日本語に関する演習。先行研究の紹介・検討を含む。	オンライン(同時双方向型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93E62	日本語学演習II-c	2	1.0	3・4	春C秋C	集中		橋本 修	平安時代日本語についての基礎的な事項に関する演習。設定した課題について各自で検討する。	2018年度以前入学の人文学類日本語学コース在籍生/日本語学コース卒業予定者に限る オンライン(オンデマンド型)
AB93E72	日本語学演習III-a	2	1.0	4	春AB	月6		大倉 浩	天草版ESOPONO FABVLASを中心にして中世日本語の特徴を捉える。キリタン資料の概説から、演習のポイントを説明し、演習を行う。	オンライン(同時双方向型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93E82	日本語学演習III-b	2	1.0	4	秋AB	月6		大倉 浩	天草版ESOPONO FABVLASを中心にして中世日本語の特徴を捉える。参加者の分担調査発表から問題を広げていく。	オンライン(同時双方向型)。その他の実施形態 状況次第で対面に変更する可能性あり
AB93E92	日本語学演習III-c	2	1.0	4	春C秋C	月6		大倉 浩	天草版ESOPONO FABVLASを中心にして中世日本語の特徴を捉える。キリタン資料から、狂言資料、抄物資料へと発展させて演習を行う。	2018年度以前入学の人文学類日本語学コース在籍生/日本語学コース卒業予定者に限る 対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。
AB93K12	日本語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		那須 昭夫, 大倉 浩, 橋本 修, 矢澤 真人, 和氣 愛仁, 菅野 倫匡	日本語学コースの卒業予定者を対象に、各受講者の課題に沿いながら、卒業論文の作成を視野に入れた研究指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 状況次第では対面で実施する可能性もある。
AB93K22	日本語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		那須 昭夫, 大倉 浩, 橋本 修, 矢澤 真人, 和氣 愛仁, 菅野 倫匡	日本語学コースの卒業予定者を対象に、卒業論文の作成に向けた研究指導を行う。	オンライン(同時双方向型) 状況次第では対面で実施する可能性もある。
AB93K38	卒業論文(日本語学)	8	6.0	4	通年	随時		矢澤 真人, 大倉 浩, 橋本 修, 那須 昭夫, 和氣 愛仁, 菅野 倫匡	日本語学コースの卒業論文。	

教職課程「国語」の教科に関する科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB93J91	漢文学概論	1	1.0	1-4	春AB	火3		荒井 礼	漢文学を理解するために必要な事柄について講義する。	教職「国語」の教科に関する科目 対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンラインになる場合もある。

言語学(英語学)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB95A11	英語文法論・統語論(1)-a	1	1.0	1・2					英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、動詞と前置詞に関連する事項について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB95A21	英語文法論・統語論(1)-b	1	1.0	1・2					英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、名詞と形容詞に関連する事項について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB95A31	英語文法論・統語論(2)-a	1	1.0	1・2	春AB	水3		加賀 信広	英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語の基本的な構文について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面 状況によってはオンライン(オンデマンド型)
AB95A41	英語文法論・統語論(2)-b	1	1.0	1・2	秋AB	水3		加賀 信広	英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。とりわけ、英語の移動現象について考察する。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面 状況によってはオンライン(オンデマンド型)
AB95A51	英語意味論・語用論(1)-a	1	1.0	2・3	春AB	月5		和田 尚明	最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主として時制形式の文法化に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) オンライン(同時双方向型)を基本とする が、状況が好転すれば対面もありうる。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
AB95A61	英語意味論・語用論(1)-b	1	1.0	2・3	秋AB	月5		和田 尚明	最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主としてアスペクト形式の意味機能の拡張に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。西暦偶数年度開講。オンライン(同時双方向型) オンライン(同時双方向型)を基本とするが、状況が好転すれば対面もありうる。
AB95A71	英語意味論・語用論(2)-a	1	1.0	2・3					最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主として語の意味論に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB95A81	英語意味論・語用論(2)-b	1	1.0	2・3					最近の意味論・語用論研究の動向を把握するとともに、具体的な言語現象の検討を通して、言語と意味・認知の関係について考察する。主として構文の意味論と語用論に焦点をあてる。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB95B11	英語音韻論・形態論(1)-a	1	1.0	2・3					英語の形態論と音韻論に関する基本事項を題材にして生成言語学の基本概念、研究目的について学び、科学としての言語研究にふれる。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB95B21	英語音韻論・形態論(1)-b	1	1.0	2・3					英語の音韻論と形態論を理解するための基盤として、英語音声学の基礎を学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB95B31	英語音韻論・形態論(2)-a	1	1.0	2・3	春AB	火3		矢澤 翔	英語の音韻論を扱う際に重要となる基本概念および理論的枠組みを広範に学習する。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB95B41	英語音韻論・形態論(2)-b	1	1.0	2・3	秋AB	火3		矢澤 翔	英語の形態論を扱う際に重要となる基本概念および理論的枠組みを広範に学習する。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB95C11	英語論文講読(1)-a	1	1.0	1・2					言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。関連する内容を扱うため、秋学期開講の「英語論文講読(1)-b」とセットで履修することが望ましい。西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)。対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンデマンドになる場合もある。
AB95C21	英語論文講読(1)-b	1	1.0	1・2					春学期に引き続き、言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)。オンライン(同時双方向型) オンライン(同時双方向型)を基本とするが、オンライン(オンデマンド型)での履修も可能。
AB95C31	英語論文講読(2)-a	1	1.0	1・2	春AB	木3		山村 崇斗	英語で書かれた文献の講読を通して、英語学・言語学の基礎知識を修得するとともに英語論文の読解力強化を図る。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB95C41	英語論文講読(2)-b	1	1.0	1・2	秋AB	木3		山村 崇斗	英語で書かれた文献の講読を通して、英語学・言語学の基礎知識を修得するとともに、批判的に論文を読んでいく練習を行う。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB95C51	英語論文講読(3)-a	1	1.0	2・3					英語学・言語学に関する英語で書かれた研究論文を講読し、通時的・通言語的観点から言語現象についての知識を習得することを旨とする。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB95C61	英語論文講読(3)-b	1	1.0	2・3					英語学・言語学に関する英語で書かれた研究論文を講読し、通時的・通言語的観点から言語現象についての発展的知識を習得することを旨とする。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)。対面。その他の実施形態 対面を基本とするが、状況次第でオンデマンドになる場合もある。
AB95C71	英語論文講読(4)-a	1	1.0	2・3	春AB	木4		宮腰 幸一	言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。オンライン(同時双方向型) 状況が改善すれば、対面形式に変更することもある。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB95C81	英語論文講読(4)-b	1	1.0	2・3	秋AB	木4		宮腰 幸一	春学期に引き続き、言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学の基礎知識と科学的研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 状況が改善すれば、対面形式に変更することもある。
AB95E12	英語学演習(1)-a	2	1.0	2-4	春AB	火4		島田 雅晴	英語の形態統語的特徴に関して通時的・共時的観点で書かれた著作を教材として、理論言語学の視点から英語を観察する基礎を学ぶことを目標とする。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB95E22	英語学演習(1)-b	2	1.0	2-4	秋AB	火4		島田 雅晴	英語の形態統語的特徴に関して通時的・共時的観点で書かれた著作を教材として、理論言語学の視点から英語を観察する基礎をより深く学ぶことを目標とする。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB95E32	英語学演習(2)-a	2	1.0	2-4					統語論、言語類型論のテキストを講読し、言語の普遍性と多様性の観点から英語とはどういう言語かを学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型) 授業はTeamsによるオンライン(リアルタイム)で行う。
AB95E42	英語学演習(2)-b	2	1.0	2-4					統語論、言語類型論の研究論文を講読し、言語の普遍性と多様性の観点から英語とはどういう言語かを学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 オンライン(同時双方向型)
AB95E52	英語学演習(3)-a	2	1.0	2-4					英語の形態統語的特徴に関して通時的・共時的観点で書かれた著作を教材として、理論言語学の視点から英語を観察する基礎を学ぶことを目標とする。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB95E62	英語学演習(3)-b	2	1.0	2-4					英語の形態統語的特徴に関して通時的・共時的観点で書かれた著作を教材として、理論言語学の視点から英語を観察する基礎をより深く学ぶことを目標とする。	履修制限を設けることがある。 西暦奇数年度開講。 オンライン(オンデマンド型)
AB95E72	英語学演習(4)-a	2	1.0	2-4	春AB	木5		柳田 優子	言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学(生成文法)の基礎的な知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面 受講者数や社会情勢によってはオンライン(オンデマンド)に変更する可能性もある。
AB95E82	英語学演習(4)-b	2	1.0	2-4	秋AB	木5		柳田 優子	春学期に引き続き、言語学の入門レベルの英文テキストの読解を通して、英語で書かれた学術論文を正確に読む力を養いながら、言語学(生成文法)の基礎的な知識と研究の方法論を学ぶ。	履修制限を設けることがある。 西暦偶数年度開講。 対面 受講者数や社会情勢によってはオンライン(オンデマンド)に変更する可能性もある。
AB95J12	英語学論文演習-a	2	1.0	3	春AB	月4		金谷 優	言語学の論文を英語で書くための訓練を行う(基礎編)。	履修制限を設けることがある。 対面
AB95J22	英語学論文演習-b	2	1.0	3	秋AB	月4		金谷 優	言語学の論文を英語で書くための訓練を行う(応用編)。	履修制限を設けることがある。 対面
AB95K12	英語学研究-a	2	2.0	4	春ABC	随時		宮腰 幸一, 柳田 優子, 加賀 信広, 島田 雅晴, 和田 尚明, 金谷 優, 山村 崇斗, 矢澤 翔	英語学の卒業論文を書くための指導を行う(基本編)。	実施日は別に掲示する。 対面
AB95K22	英語学研究-b	2	2.0	4	秋ABC	随時		宮腰 幸一, 柳田 優子, 加賀 信広, 島田 雅晴, 和田 尚明, 金谷 優, 山村 崇斗, 矢澤 翔	英語学の卒業論文を書くための指導を行う(実践編)。	実施日は別に掲示する。 対面
AB95K38	卒業論文(英語学)	8	6.0	4	通年	随時		宮腰 幸一, 柳田 優子, 加賀 信広, 島田 雅晴, 和田 尚明, 金谷 優, 山村 崇斗, 矢澤 翔	英語学に関する卒業論文。	
AB95L11	英語文法論・統語論(1)-c	1	1.0	1・2					英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。主に助動詞にかかわる問題を考察する。	履修制限を設けることがある。2018年度以前の入学者のみ受講可。 西暦奇数年度開講。 2022年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB95L21	英語文法論・統語論(2)-c		1.0	1・2					英文法のわく組に生成文法を中心とした言語学の新しい知見を盛り込むことにより、体系的で魅力的な文法研究の動向を探る。主に冠詞と指示詞にかかわる問題について考察する。	履修制限を設けることがある。2018年度以前入学者のみ受講可。西暦偶数年度開講。オンライン(オンデマンド型)

言語学(その他)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
AB99A11	比較・対照言語論I-a		1.0	2 - 4					比較・対照言語学について概論的に解説したうえで、特に語彙と文法の繋がりに注目しながら、中国語と日本語、ドイツ語と日本語を対照する。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。オンライン(同時双方向型)
AB99A21	比較・対照言語論I-b		1.0	2 - 4					言語類型論入門のテキストを使用し、語順の類型、形態的類型、名詞句の類型、動詞句の類型、否定、ムードの類型など、世界の様々な言語を比較・対照する方法論を学び、言語の普遍性と個別性についての考察を深める。	履修制限を設けることがある。西暦奇数年度開講。オンライン(オンデマンド型)
AB99A31	比較・対照言語論II-a		1.0	2 - 4	春AB	月2		那須 昭夫, 田川 拓海	言語の比較・対照研究の基礎(研究の射程・目標・方法・成果・意義など)を世界の様々な言語の具体例やいくつかの事例研究を通して体系的に学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。オンライン(同時双方向型)。対面。その他の実施形態
AB99A41	比較・対照言語論II-b		1.0	2 - 4	秋AB	木5		宮腰 幸一	日本語と英語の身近な例を出発点に、世界の様々な言語の事例研究の概観・検討を通して、比較・対照言語研究の射程・目標・方法・意義・成果などを具体的に学ぶ。	履修制限を設けることがある。西暦偶数年度開講。オンライン(同時双方向型)。対面